

Savoir sans Frontières

エコノミコン

Jean~Pierre Petit
ジャン・ピエール・プチ

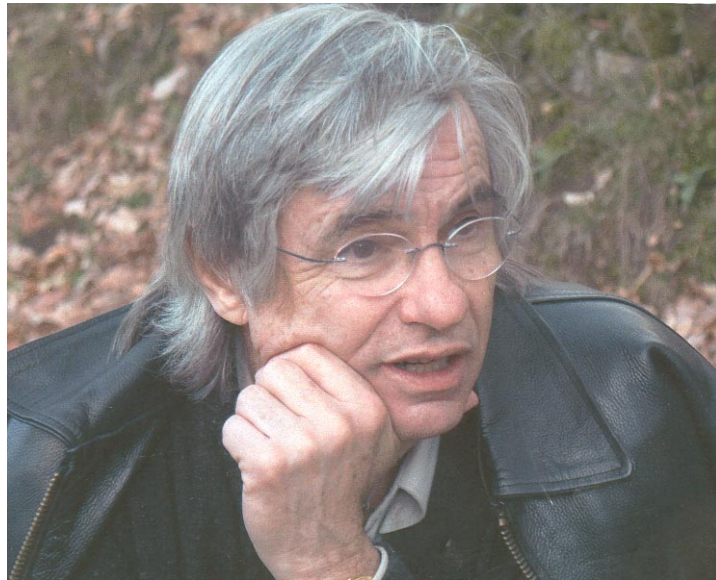


<http://www.savoir-sans-frontieres.com>

国境なき知

1901年のアソシエーション法(非営利団体に関する法律)に準じて設立
住所 Villa Jean-Christophe, 206 Chemin de la Montagnère, 84120 France
H.P. <http://www.savoir-sans-frontieres.com/>

責任者 ジャン・ピエール・プチ



ジャン・ピエール・プチ：元国立科学研究所研究科科長、天体物理学者、科学漫画なる新分野の創設者。2005年、全体として20ほどの作品を公共の財産として提出することを決意し、自分のサイトから無料でダウンロードできるようにした。また科学、技術に関する知を含む知識を世界中に、無料で分け与えることを目的とした非営利団体「国境なき知」を設立。寄付により運営されている当団体は、翻訳者に銀行振り込み手数料を除く150ユーロ(2006年)の報酬を支払っている。多くの翻訳者のおかげで、翻訳された作品数は毎日増えている(2005年時点でラオス語、ルワンダ語を含む18の言語に訳された)。

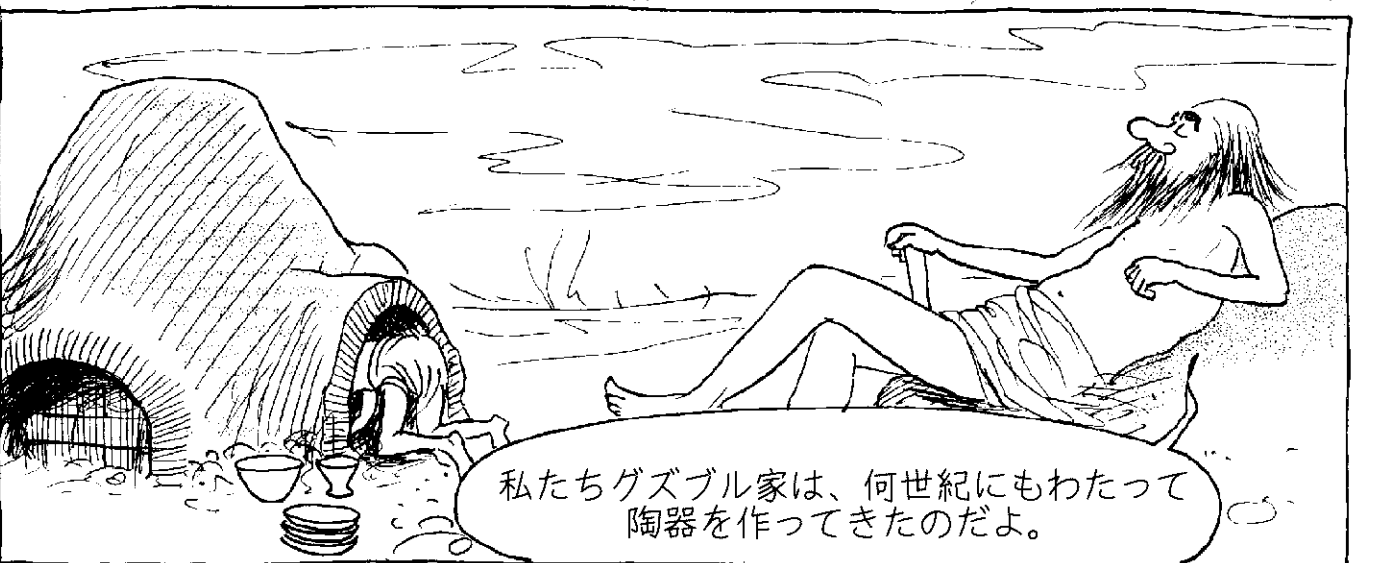
このPDFファイルは、全体あるいは一部分でも、営利目的の行為に関わらないという条件の下で、自由にコピー、複写でき、教育者が授業に用いることができる。市立図書館、大学図書館、学校図書館に、印刷、あるいはイントラネットの形で置くことも可能である。著者はこの叢書をまず、もっとも簡単な漫画作品(12歳以上対象)から完成させようとしている。読み書きのできない人に向けた「話す」漫画、母国語以外の言語を学ぶための「バイリンガル」漫画の準備も進行中である。

当団体はたえず、当漫画の正しい翻訳がなされるための適切な技術的能力を有し、各当言語を母語とする翻訳者を探している。

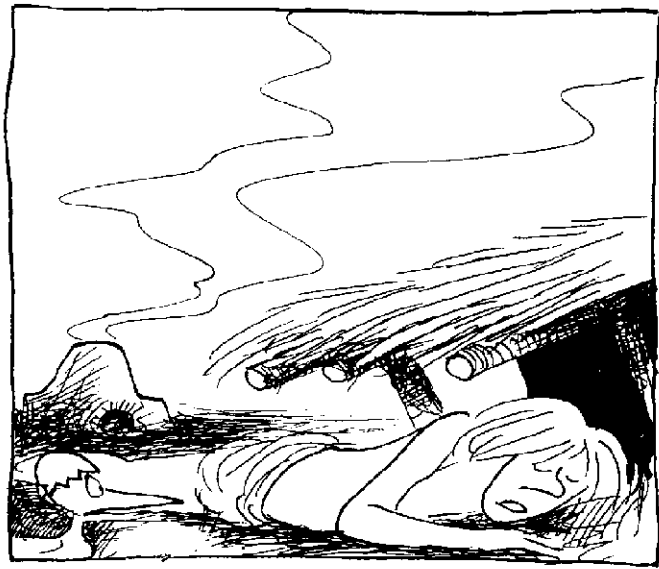
また寄付(国境なき知団体あてに作成された小切手)も歓迎している。2006年当団体の資金は主に、新しい翻訳にあてられている。

プロローグ

ボルドゥリで昔々...



俺たちは何世紀も、
陶器を作ってきたのか。



ほら、コルヌキュ、動くんじゃない、
売り物をのせられないじゃないか。



やあ、クルミールじいさんだ。



物々交換


さあ、陶器一つに魚4匹でどうだ？

いや、6匹だ。


彼らが相場を決めるのには
時間がかかるよ。
君、大丈夫かい？

まあね、彼のために魚を
釣っているんだけどね。





なのに、なんとか飢え死にしない程度の魚しかくれないのよ。
でも私に何が出来るっていうの？川はクルミールの連中の
ものだけど、私はトゥール側の人間だから。法律によれば、
クルミールの者だけが川をあさる権利があるの、
ケファルの神が彼らに与えた権利だから。



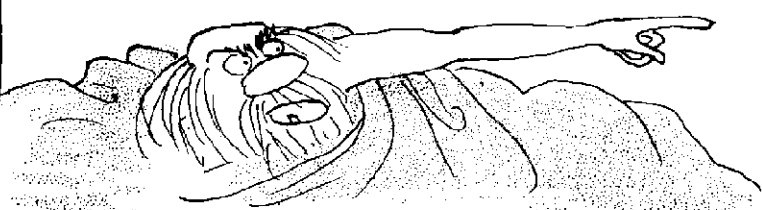
そうだね、知っているよ、
ボルドユリにも
似た法律があるよ。



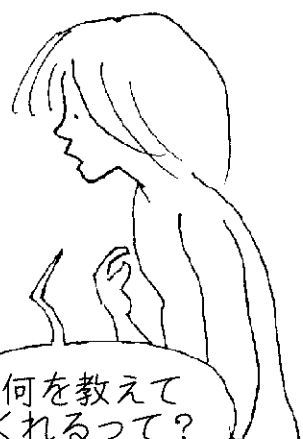
食べ。

人生はこんな風におくられている。陶器作りの
技術があるボルドユリの者たちは、魚と
引きかえに陶器を、クルミールの者たちと
物々交換している。南のポラックの者たちが、
彼らに塩をもってくる。この塩で、魚に
味付けして陶器に入れる。そしてそれを、
塩の代償にポラックの者たちに与える。
そしてポラックの者たちは、今度は...

ある日...



腰痛のくそったれめ！お前が陶器をもって
クルミールのところへ行け。だがやつらがお前を
騙さないように、**数え方**を教えてやる。



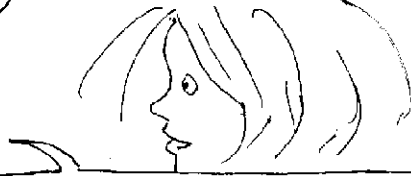
何を教えて
くれるって？

会計

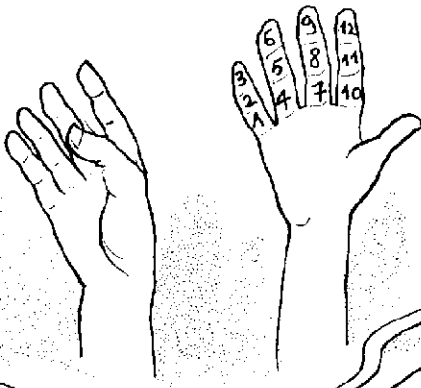
指の秘密を教えてやろう。よく聞け、小僧、自分の手が見えるか？ちゃんと指がついているな？指には関節があるだろ？



お前に教えるべきじゃないのかもしれない。だが教えなかったら、クルミールのやつにいいようにされてしまう。



そして俺は、いいように扱われるのは嫌いだ。



分かるか、親指を関節を数えるのに使うんだ、この順番で。数え終わったら、1 ダースになる。それを書きとめておくのに、木の皮を使え。

行け、それからこの秘密は誰にも言うんじゃないぞ、さもないとウォールの神がお前を罰するだろう。書き込んだ木の皮の会計帳簿を持ってくるんだぞ！...



もしごまかしたら、皮をはいでやる！

お金の誕生

グズブルじいさんはどこだ？

来られなかったんだ、
具合が悪くて。

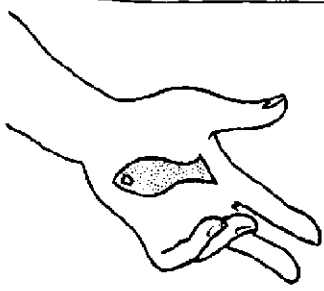
ところで、魚はどこにあるんだ？

南のポラックのやつらが来た。
彼らは戦争をしに行った。
それで魚はほとんど、
やつらが持っていったんだ。

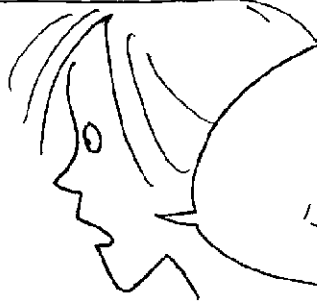
数匹しか残っていないよ。

でもどうすればいいんだ？さすがに彼らの
ところまで、壺を持ってはいかないよ。

もっとういものをあげられるよ。鉄でできた小さなやつがあるだろう。実は、一つ一つが魚一匹を表しているんだ。



それはよく分かったよ。でも先生が何というだろう、美味しい魚の代わりにこの小さいやつを持っていったら。

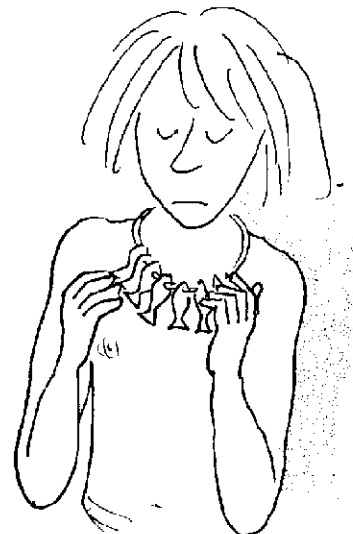


この小さな鉄の魚は、とっても高価なんだ、知っているか？南のポラックのやつらは、俺と時々、食料とこの魚を交換するんだ。狩をするやつらは、鉄で矢じりを作れるが、鉄を溶かしたら、また別のものを作れるみたいだ。

だめだ、信用できない！こんなに小さいじゃないか。先生に叩かれる。

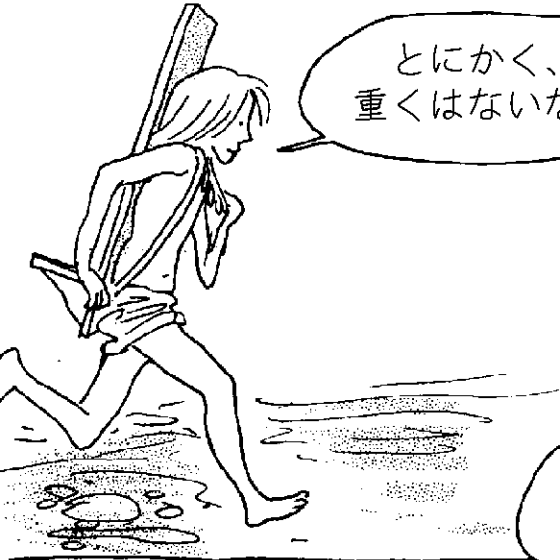
お前さんの壺で、どうやって会計をするんだい？このやり方は生活を楽しんでくれる、一匹の魚、物一つ、一匹の魚、物一つ。

こうすれば、間違えられない。首飾りもできるんだ、こうすれば道に落とすことはなくなる！ (*)



(*) 地中海のある町々で、ずっと後に再び用いられたやり方。

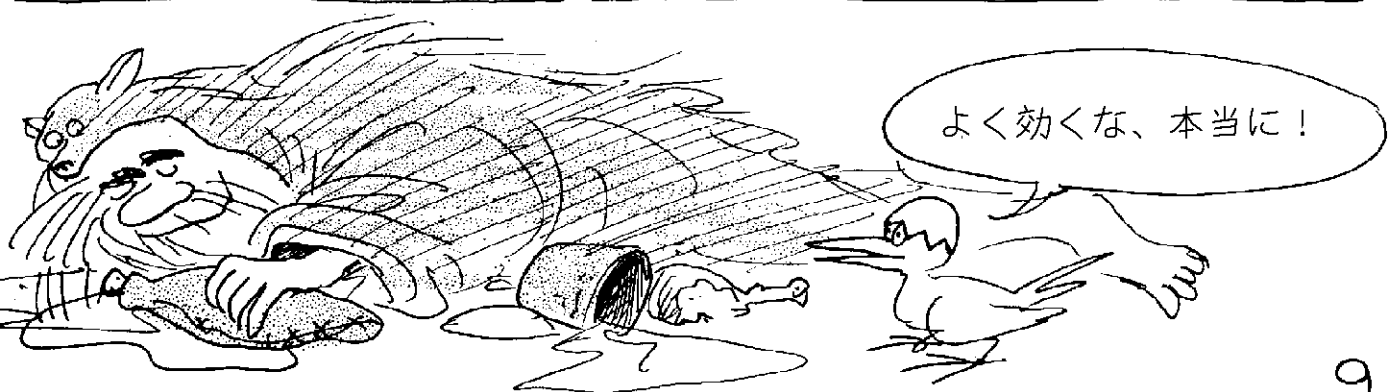
商売



そうだよ、同じ価値があるって付け足していた、あの地域で確かめに行ってもいいって。



素晴らしい！私たちの隣人のタヤックが、今まで私たちの壺を無視していたのが、鉄の魚には降参だった！交換に、毛皮と肉をもらえたぞ！



このように**貨幣**は、交換を可能にしてくれるのだが、
すぐに使える、消費できるものの交換を必要としない。
直接使えないが取引の材料になるものを、一時的に持つのを承知
するため、グズブルの者は壺を肉と酒にかえるのに、硬貨を使える。



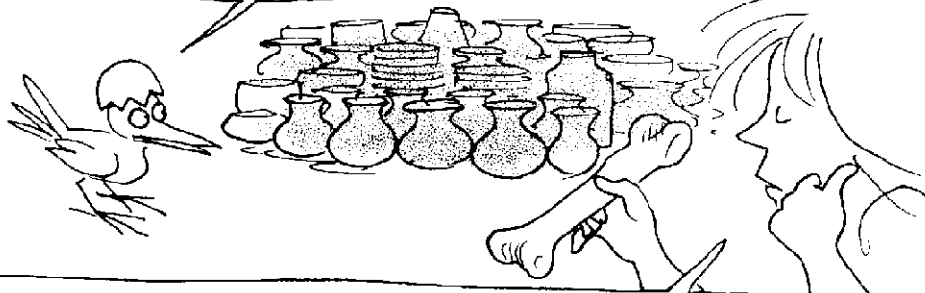
利点は、軽いところだ。

消費文明

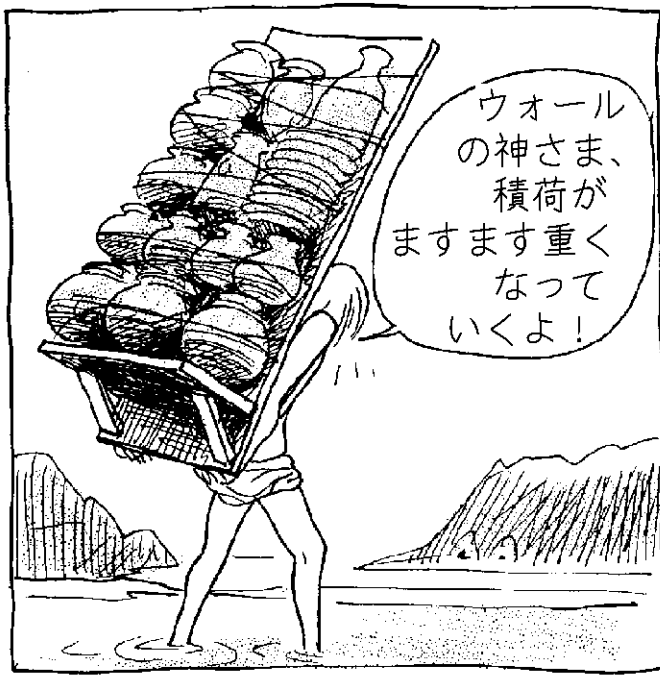
決めたぞ。お前はもつともつと壺を作るんだ、壺の山々ができるくらいな。
それから、本物の魚と壺を交換する代わりに、例の物を持ってくるんだ、
それで肉と薬をたくさん買える。



3倍の壺を作って、君にとってはどんな変化が
あったんだい？ 君たちの必要性の3倍。



まあ、魚の骨をしゃぶるかわりに、動物の骨をかじっているよ。



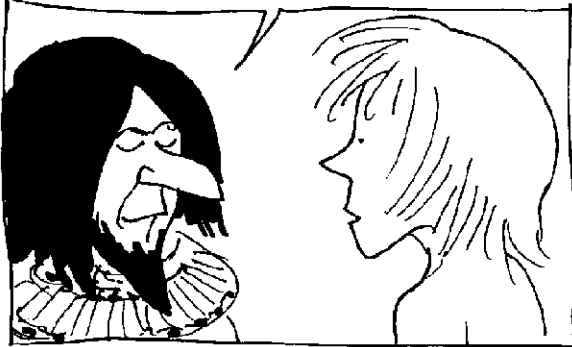
ウォールの
の神さま、
積荷が
ますます重く
なって
いくよ！



おや、これは新しい。
この小さな魚には
何か書いてある。

ああ、
知らなかった
のかい？

南のポラックのやつらは、誰とでも戦争をしていたんだ。
最後にはニュミス王を怒らせて、やられてしまった。戦争に勝った王は、
国中に支配を広げた。王はこの小さな金属製の魚のアイデアをととても
面白く思われて、鑄造場と鉱山の統制に乗り出した。今や彼が
このシステムを牛耳っているんだ、それで自分の印、
彼の刻印を、硬貨につけたのさ。



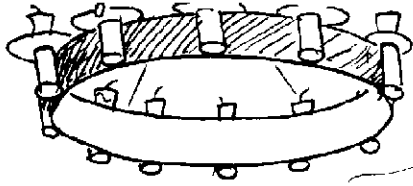
ああ、細かなことだが、
同じことをしたら串刺し
にされるんだ！

うわああ！



貨幣流通高

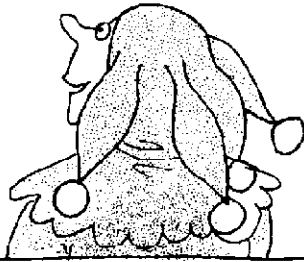
ニュミス王のところ



このポラックの発明、
この... 貨幣... 素晴らしい!
地球すべてを買える!

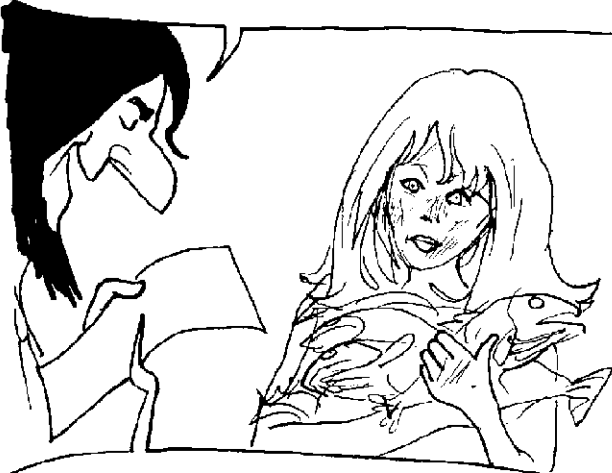


地球ですか、
陛下? この
宇宙を!...



お前の言うとおりで、宇宙を買おう!

商売は上手くいっているよ、ソフィア。ニュミス王から信じられないほどの注文がきた。王は地球のすべての住民を昼食に招くことに決めたのだ、だから途方もない魚の貯蔵量をほしがっている。



もっと釣りに力を注ごう。
お前は巨大な網を使って、
湖の魚を取るんだ!

お金はこっちだよ!



アンセルムはといえば、ボルドユリのグズブルのため、信じられないほどの壺を作らねばならなかった。

これは片手の片手の片手分だ。(*)



この矢じりのことか。
十分あるよ、じいさん。
私たちの矢筒はいっぱいだ。
話にならんよ。

それに...
鉄は、鉄
だしな...

多くとも1
リットルに対して
片手4本分だ。



この連関のもう一方、タヤックのところ
では...

お前さんの具合の悪さに効く
2百リットルの薬と、それから何が
欲しいというんだ？

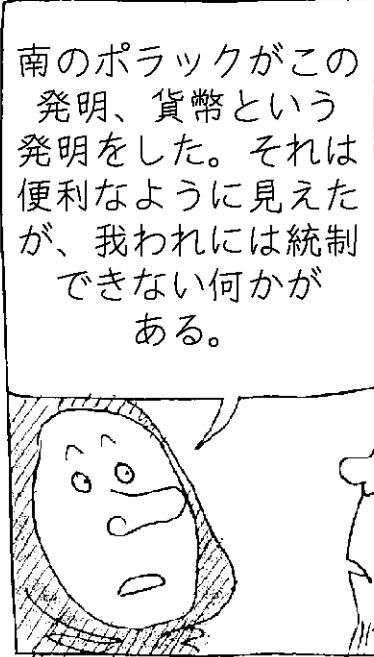
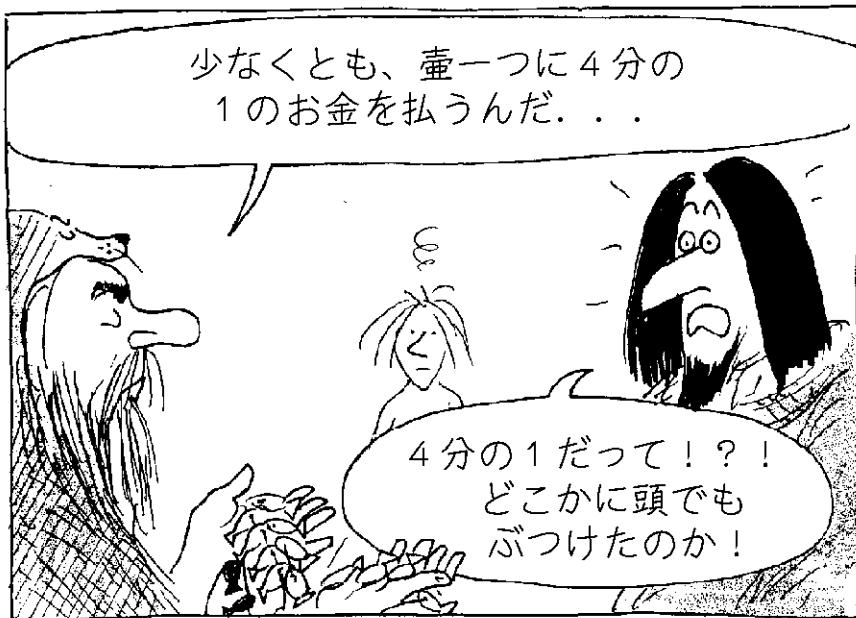


だが... 払えるだけ
のものがあ... お金
を持っているんだ。

だが... お前たちにそんなことを
する権利はない。1リットル片手分
だった。この率で取引するんだ。



そうかい？樹脂と鶏の羽
を探しに行きな。



ポラックにこの危機を解決
するよう頼んだとしたら？

この貨幣を発行したとき、公定価格は
魚一匹に対して硬貨一枚だった。
それから我われはもっと貨幣を発行しよう
とした、それで価格は抑えられなくなりだした。

ああ、陛下、
彼らは全員串刺し
にされました。

おお、残念だ

硬貨を作る
のをすぐ止めなければ
ならない。

だがクルミールのところでは、ニュミス王による威厳を高めるための行いが、別の結果を招いていた。

これでお前が獲ってきた
全部か、メス犬め！？！

お怒りになっても何の役にもたちませんよ。
このとんでもない注文のために、私たちは魚を
大量にとり、湖の底は荒れてしまいました。

魚の数は半分に減ってしまった？稼ぎを確保するのに、
単に値段を二倍にしておこう。

魚一匹
手分
硬貨8本

何と！手8本分！！！高く
なったな、お前さんの魚は...

希少なものは高い

ご覧になりましたか、陛下、魚が稀少になると、その値段はあがります。希少さが価値を高めるのです。



私たちの貨幣の素材はあまりよくなかったのかもしれない。鉄はありふれたものになっています。荷車の車輪は鉄で作っています。金属工業は発展しています。希少なもので貨幣をつくった方がよいのでは。

何がよいかの？



金です。

お前の言うとおりに。金は作り出すのが難しい。大量に出回ることもないじゃろう...



それに金は錆びません

しかし、一つ気がかりがある。金は何の役にも立たない。金はかなりやわらかい金属だ。

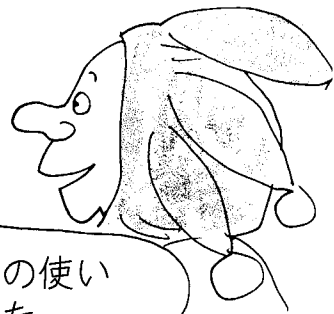


なぜ役に立つものがいいのです？

さあ... 鉄は溶かすことができた。鉄で役に立つものをたくさん作ることができた。矢じり、釘...



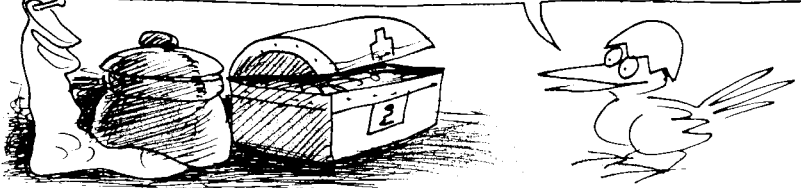
消費できるものを



そうですが、金の使い道を思いつきました...

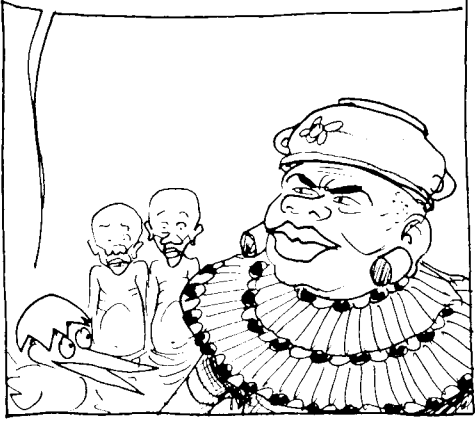
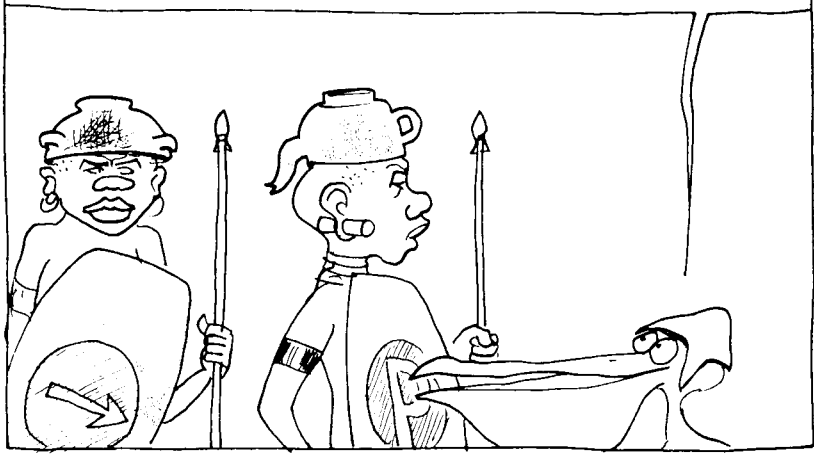


そしてこの国は、まあまあ通貨が安定した時期を過ごした。交換の際、貨幣が必要不可欠の仲介として認められるのに、時間はかからなかった。貨幣は貯められ、蓄えられ、貯金になった。

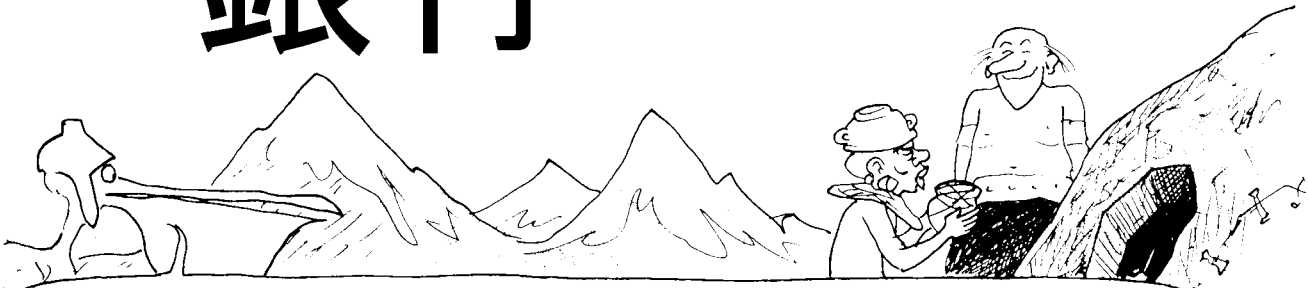


商業はともかく発展した。ボルドユリのグズブルは、彼らから壺を買うようタヤックの説得にこぎつけた。かくして彼らは自分の商品の新しい販売経路、新しい市場をひらいた。

今度はタヤックの王が、消費の快樂を知った。狩りでえた肉を交換して、彼はたくさんのいいものを買うことができた。



銀行



国民の金を節約するため心を砕き、彼は決めた、金を、それを盗りたがる連中から遠ざけるため、完全に中立の立場にあり、それを安全な場所に保管することに同意し、少しの使用料を払うことを求めた隣人に、預けることにした。

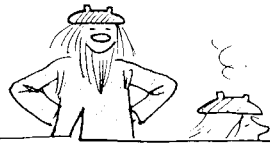
需要による インフレーション

聞いてください！頭に何もかぶらないで歩いている方、宇宙からの悪影響、悪霊、悪い波動、太陽光線にさらされていますから、このボルドゥリ特製帽子を使ってください、あなたを指導者にしてくれます。私たちのかぶりものを買ってください！



かぶりもの販売中

学校の長いすに座って無為に時間を過ごしてはいけない。私たちの認識形而上学愛好帽子は、頸部を通して君たちに欠けているあらゆる知識を与えてくれる。



アンセルム・ランチュルリュは、今ここで、完璧なばかりだったのだが、このかぶりもののおかげで、指の秘密を学べたのだ。

ともかく、グズブルのやつは、広告に関しては並ぶ者なしだ。



でも本当に効くのかい？

効くわけないじゃないか!?!

アンセルム、坊や、商売はとっても上手くいっている！



50ギェルバールだ、兄弟。

もう3つしか残っていません、先生。

何だと？なら60
ギェルボールだ！



ですが...
値段をあげられる
んですか？



息子よ、値段を決められるのは
ウォールの神だ。そして人がさらに
欲しがるといことは、高い
値段ではなかったということだ！

この馬鹿げた壺を全部焼く
のに、私たちは森の木すべてを
切り倒してしまった。



アンセルムよ、私はすべて予想
しておった。これからこの黒い油、
ナフサで壺を焼くのだ。



ああ、ひどい臭いだ。

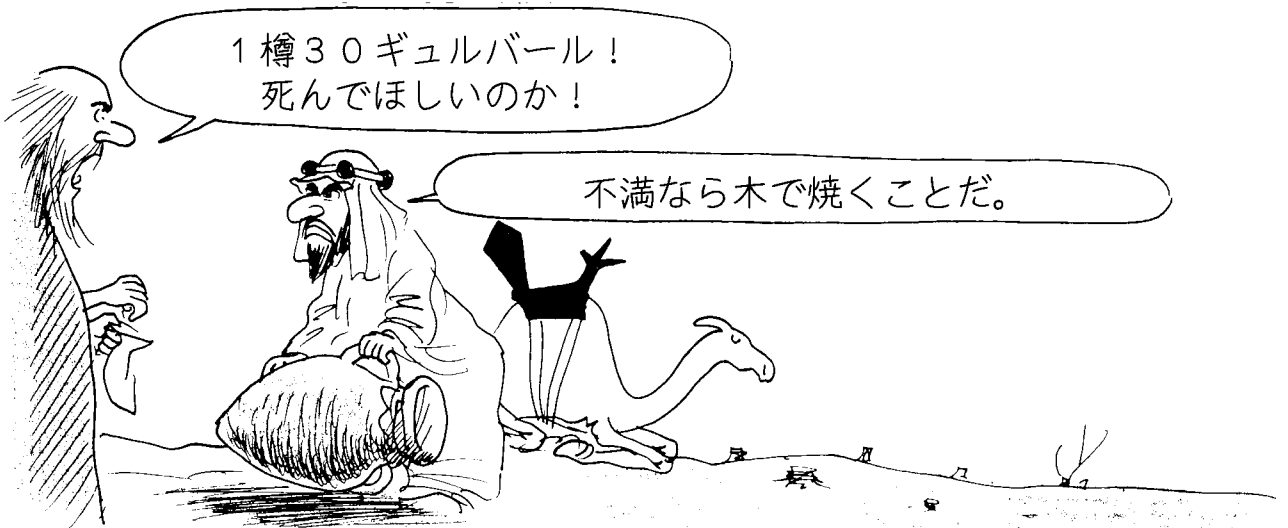
回せ、後は放っておけ。



経費による インフレーション

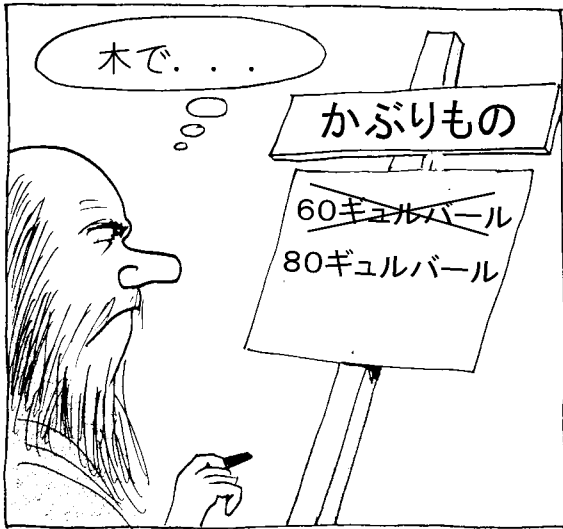


少しばかり後



1樽30ギルバル！
死んでほしいのか！

不満なら木で焼くことだ。



木で...

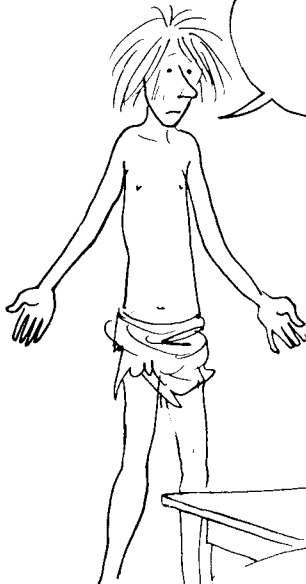
かぶりもの
~~60ギョルバル~~
80ギョルバル



閣下、やつら値段をつり上げました。

お前にはいらいらさせられる。油の樽の
値段をあげる。私は忙しいのが分かるだろ

ある日...



先生、もうやっていけません。冬は寒いです。毎日腹を
すかせています。それからもう何年もこの状態です、
先生は豚みたいにとらふくがつついているのに！...

何だと！！！！



よし、分かった。あの湖で働いている娘が、お前の頭にこの考えを植え付けたのだな！...

あそこでは協同組合か、何かそんなものやっているらしいな！

一日5ギェルバール
ください...

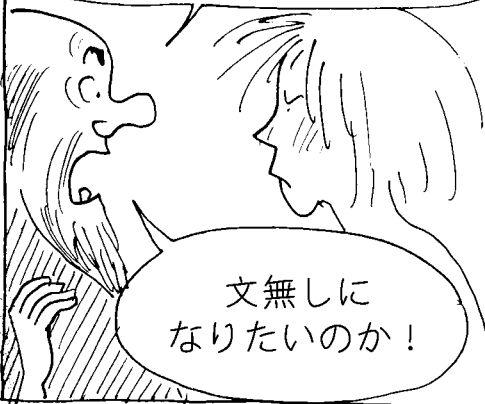
それと一週間に
休み1日...



お前はぶち壊しにしたいのか？
私には油の支払いもあるし、その値段は
上がり続けているんだ！

一日5ギェルバールだと！
私を殺したいのか！

薬をあまり飲まないようにする
しかないじゃないですか！



文無しに
なりたいのか！



一日5ギェルバール

ウォールの
神様、
悪い夢だ。



聞け、よく働いたら、後で、
お前によくしてやるよ。

しかしそんなに金を
もらってどうするんだ？



すぐに一日5
ギェルバール
ください！



シャツと石鹼を
買うんです！



そう、そうになってしまうんだ。
まず贅沢になり、次に放蕩、そして姦淫だ！

私はお前をお前
自身から守るのだ。

何で私に言いがかり
をつけるんです？！！
私が欲しいのは、
シャツです！

そういうなら、
壺は自分で作れ！

ウォールの神に対して、
私はお前の品行に
責任があるのだ。

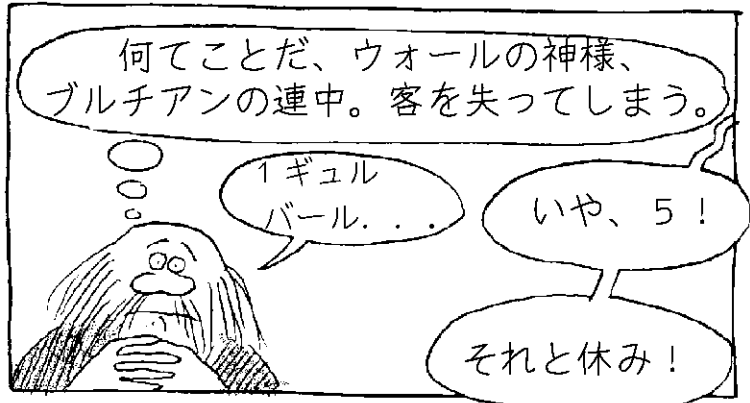
何と恩知らずな！彼は
私に全部負っている、彼を育
てたのも私だし...

ああ、私の薬！

夜明け

アンセルム、早く降りて
来い！ブルチアンのかぶりもの
を作らなければ。明日彼らが
やってくる...

一日5ギェルバールと
一週間1日の休み！



競争



頑丈かな

ええ?!

ばこん!

ノーグッド!

ノーグッド!

何だって、よくない?でも...
飲むのには、トリンク、飲む...

トリンク、よくない

トリンク!

えと

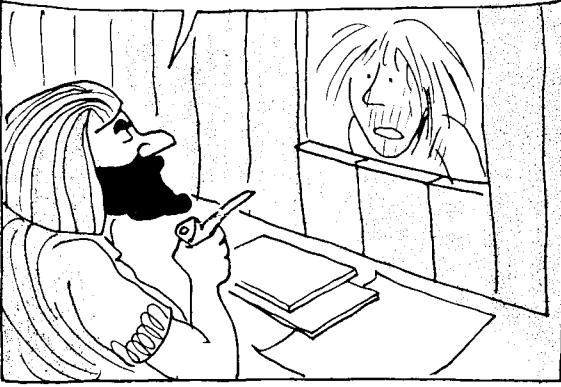
アンセルム... 帽子... 鉄の!...
この樽... 木製の!お前分らないのか?
終わりだ、終わりだよ!

この発見、この技術革新は、ボルドユリのグズブルの産業を
少しの間で荒廃させた。

労働市場

何と言われました？陶器工ですか？見るところはありません。数は数えられますか？

それは12進法の数え方です。君、今は10進法で数えているんです！...



新しい技術すべてについていくことはもうできない



ランチュルリュが非情な失業の道についてたとき、湖のふちで、ソフィアは

マトコボウスカ！クルミールを殺して湖の魚を獲ってから、何があった？

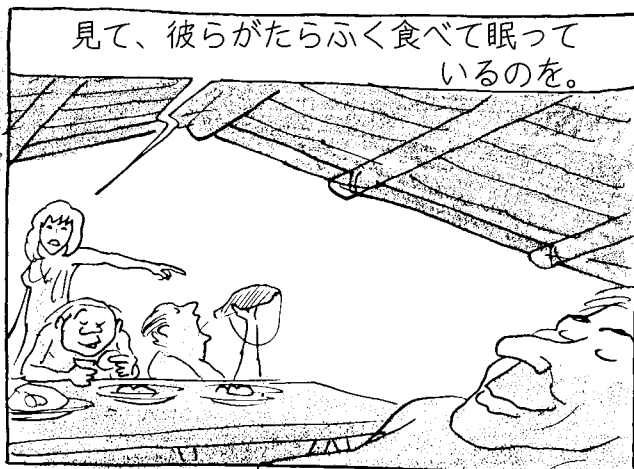
私たち、漁師は、仕事を続けなけりやならなかった。反対に、寄生者の群れがやってきて、私たちの境遇はほとんどよくなるらない。

いいものだな、私たちの協同組合は！

同志よ！そんなことを言うべきではない。労働者集団は戦いだ。生産の第一線で戦っているのだ。だが他のものは、政治意識の分野、計画の面で戦っている。私たちはここで計画経済(*)を生活しているのだ。



あら、ちょっと見に来てごらんさいよ、あなたの言う政治意識の英雄たちを！



見て、彼らがたらふく食べて眠っているのを。

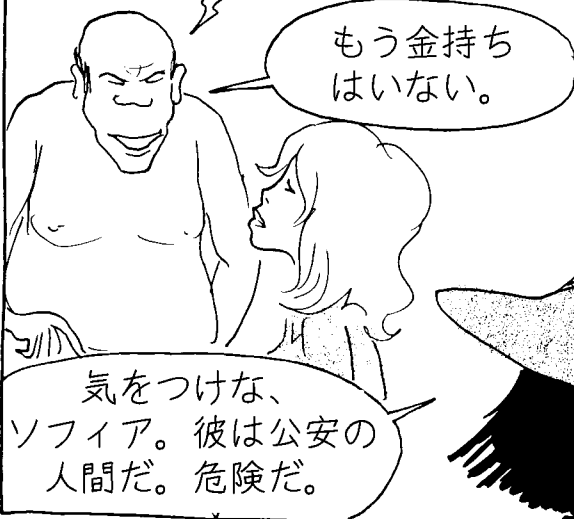
たらふく食べているのではない。賞味しているのだ。質の管理をしているのだ。お前は意地悪だ。



質の管理ですって？
笑わせるわ！

本当に働いている者一人に対して、
漁に出ないか眠っている者が
10人いるわ

私たちの生活はましなものじゃないか、ここで、皆で生活するのは。失業はない。皆に仕事がある。



もう金持ちはいない。

気をつけな、ソフィア。彼は公安の人間だ。危険だ。

(*) 計画経済下では、すべてが同時に進められる。

生産、給料、価格、消費は国の管理下にある (自由経済に対立)

私は全部憶えているわ。私がこの革命を欲していたことは、神が知っている。クルミールを殺したとき、私は彼らのために涙を流さなかった。でもここでこんなにたくさんの人間が、不能者、怠け者、ばか者だけ高い政治意識をもった者の新しいカーストを作るのを避けるために、どうすればいいと思うの。．．．それになぜ彼らは魚の身で、私たちは頭なの？この特権はなぜ？

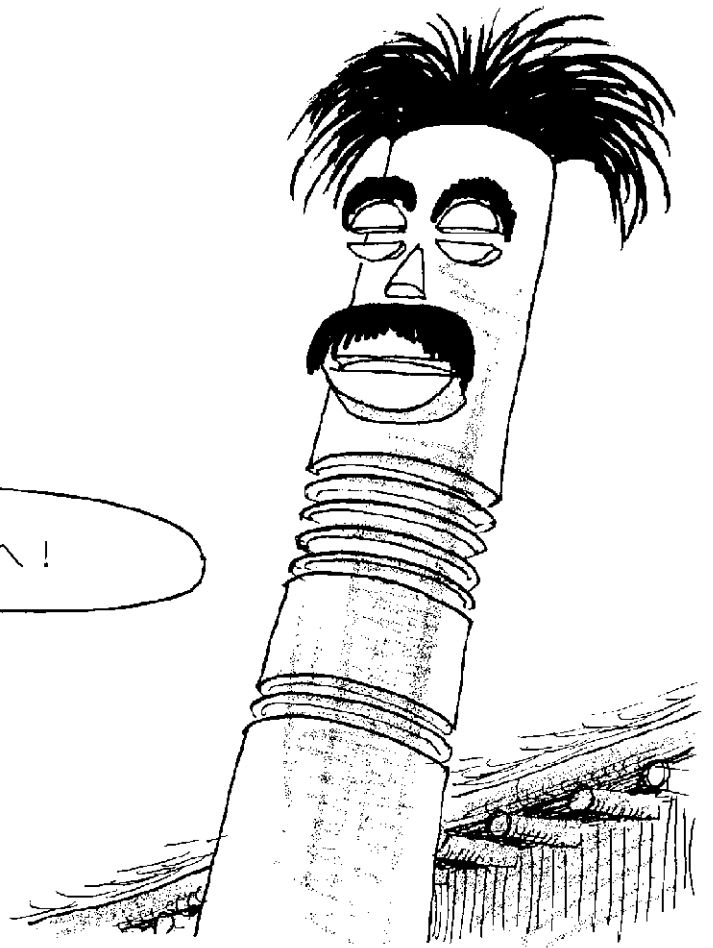
お前の旧弊な気質はお前の目を塞いでいる。全体を見なければ、一つ一つの事態に集中してはならない。

丘の向こう端、ボルドユリでは、人間による人間の搾取が行われている。

そうここでは反対ね。

もういい！お前について報告するぞ！

人民の小父のところへ！

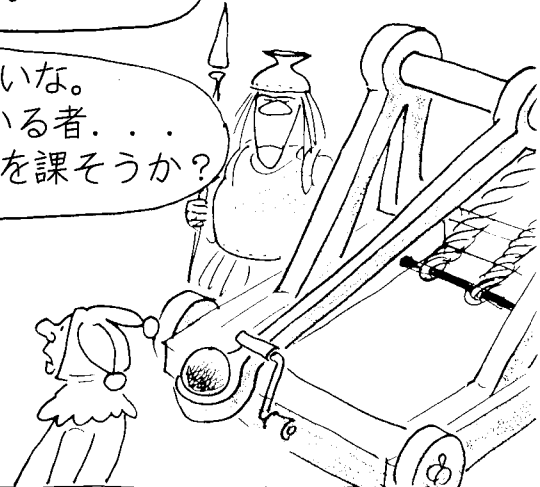




東方のクルミールの地方で起こったことがここでも起こるのはごめんだ。



別の税を課すほかないな。どうしよう... 痩せている者... あるいはひげのある者に税を課そうか？

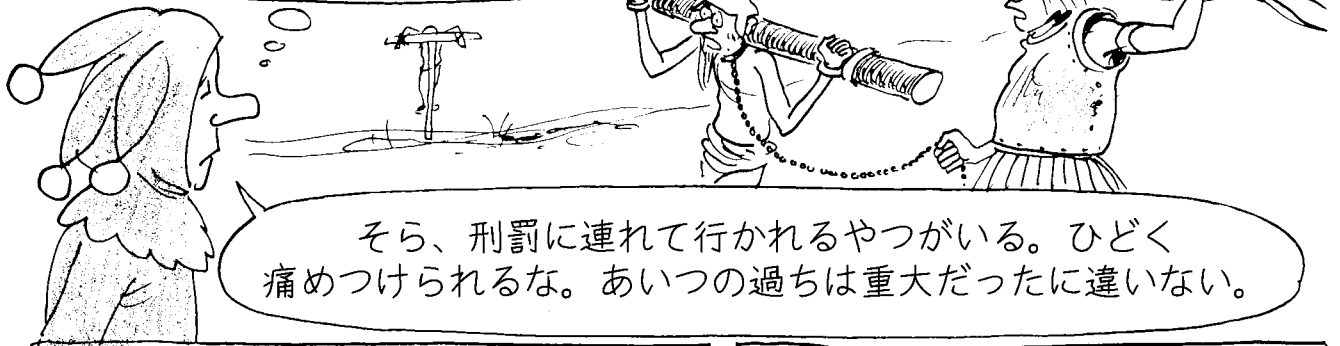


陛下、税はもう無理です。あまりに悪い影響がでます。それに金貨をこれ以上薄くすることはできません。でないと反対側が透けてみえるようになってしまいます。

聞け、お前は私の経済学者だな？気づかれずに持っているものを取り上げるための解決策を発明するのはお前の役目じゃ。さもないと串刺しだ！



口で言うのは簡単だ...
言うだけなら...



そら、刑罰に連れて行かれるやつがいる。ひどく
痛めつけられるな。あいつの過ちは重大だったに違いない。

デカリオン、
彼の罪は何だ？

不渡り
小切手です

ある者たちは金を安全のため山の
洞窟にしています。この場合
不具合な点は、この金が流通
しないことです。もう金
を使えないことです。

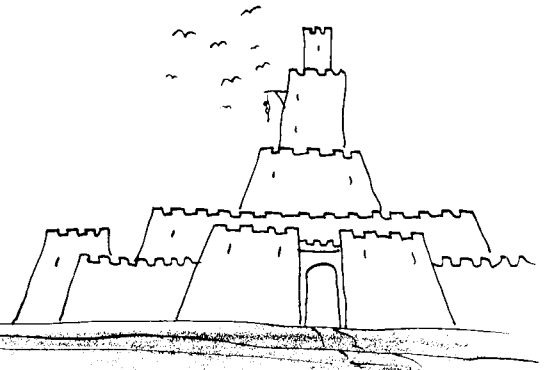
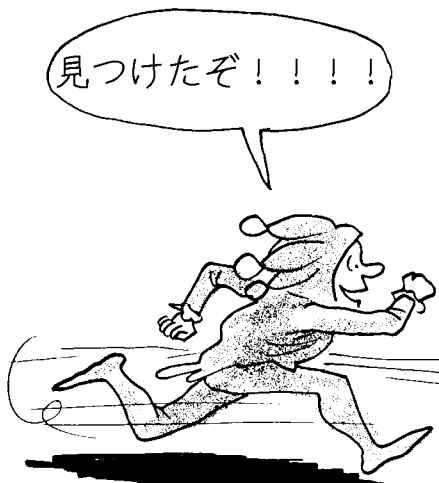
そうだ、交換に
ブレーキをかける。

そこである者たちがあるシステムを考えつきました。羊皮紙の切れ端に、
~ギェルバール分と書いて、サインするのです。彼らはそれを小切手と
呼んでいます。もちろん法は死刑を課して、洞窟、つまり銀行において
あるギェルバールよりも高額の小切手を発行するのを禁じています。
この羊皮紙で支払いができます。

その後、山に羊皮紙をギェルバール
にかえにいくことができます。

ああああああ

ありがとう、デカリオン。休みをとりにいい。
私に説明してくれるのには、大変な努力がいったらう。



紙幣

陛下、銀行を開いて、
ボルドユリ銀行と名づけましょう。



それで? 何がいい
のか分らんが。無駄に
生活を複雑にする
だけじゃないか

そして小切手のシステムを
一般化するのです!

銀行に臣民がもっているすべての金を受け入れることから始めましょう。
場合によってはその気にさせて. . . 代わりに、~ギェルバールとある紙を渡すのです。そしてこの種のものしか流通しないようにするのです。

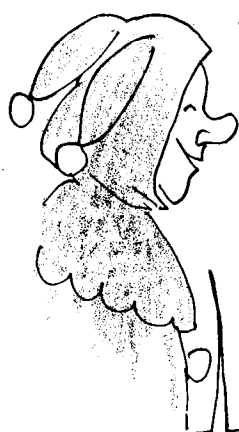


だが. . . そんなに裕福にならないのでは?!

ああ、待て、よく分かってきたようだ



ギェルバール紙もまた流通させるのです。
もちろんギェルバール金貨よりも多くさせるのです。



ふむ. . . ギェルバール金の重さが減ったことは、分かるようになってしまった。しかしこの紙貨幣を発行するのが我われだとは誰も知るまい?

歴史に残る、大掛かりな不渡り小切手事件になるだろう。

金のごまかし!

しまった!

何だ?!

いえ、何も、陛下. . .

待て、もしたくさんのギルバール紙幣を発行したら、どんなばかでも疑いを抱くだろう。そしてもしギルバール紙幣の数が多くなったら、ギルバール金貨よりも多くなったら、すべてを同時に交換することはできなくなる、一枚に一枚、**等価**を保つために。

ノート この交換を拒否することは常にできる...

それは混乱を招く恐れがあります、陛下。私たちのギルバール**紙幣**に対する**信用**が失われます。

ギルバール金貨の2倍のギルバール紙幣を流通させれば、一枚に対して二枚交換すれば足りる。

こうすればよいのです、人々がすべてのギルバール金貨を私たちに預けたら、それを溶かすのです！

よく思われませんよ、陛下...

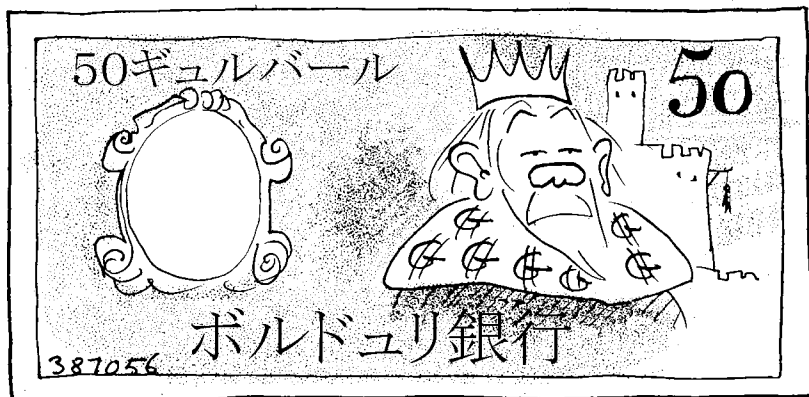
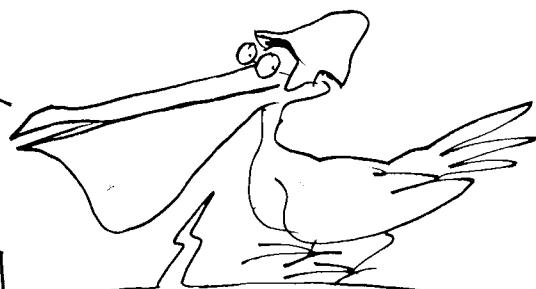
それでどうなるのだ？

金になるんです、単に。

王国の歴史上最大の不渡り小切手事件はこのように始まった。すべては予想通りに運んだ。人々はギェルバール金貨を持ってきたが、それらはすぐに溶かされ、その話を耳にすることは最早なかった。ニュミス王は山ほどの紙幣を印刷し、人々はすぐこの紙幣で山ほどのものを右から左へ買っていった。もちろん、価格はあがり、金の値段もあがった。しかし、すべてのものが高く買われたので、もうボルドユリの昔の貨幣を知る者はいなかった。



この、もしボルドユリ人がしたら誰でも刑場へ送られた活動は、**経済**と再命名された。




もちろん、ニュミスはこの経済を自分のためにしようとした者全員の皮を、生きたままはいだ。

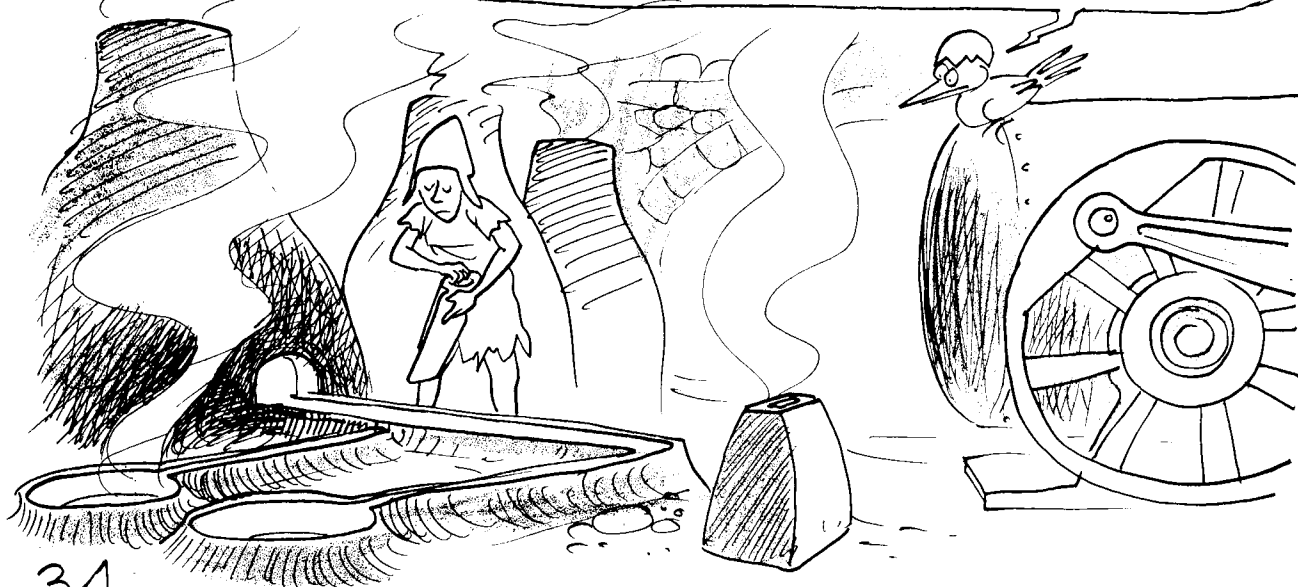
以前は、人々からお金を取るのに、さらに重くした税を課さねばならなかった。



ニュミスは税制を残した、しかし**貨幣流通高**の膨張が
おこりうること、彼が支配する**インフレーション**のおかげで、
紙幣の欠乏が起こることはなかった。もちろん、同時に、
値段はあがりにあがった。



しかしボルドユリの経済活動は、**産業時代**に入り、
発展した。いたるところに製造場を建て、そこでは
今やボルドユリ人は賃金労働者として働いていた。
ニュミスとその家族は、紙幣で... 買収したり建て
たりとその大半を所有していた。



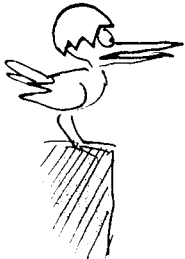
価格が値上がりしたので、賃金労働者たちは賃上げを要求するほかなかった。そして、時々、暴力的な抗議活動が起こった。



人々は一時的に裕福になったかのような印象をえた。

ああ、ともかくくれた、あいつのギェルバールを。

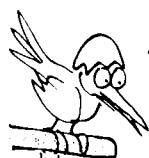
勝った！
勝った！



人々はものを買いに店に走っていった。



自分のもうけを最大にしようと思い、
夕方になると、商人は値段を上げた。



~~800G~~
900G

彼らがまた欲しがると
いうことは、十分高くなかったと
いうことだ、ウォールの法だ！

それから店員の給料を
あげなきゃならないことも
勘定にいれなけりゃ
いけないわ

変化があればるほど前と同じになってくる

分からないよ！

200ギェルバー！
10年前私は5ギェルバー
稼いでいた！

値段を見たかい？



なんて時代だ！

いったいどう
なってしまうんだ。

ソフィアの店
あらゆる種類の
媚薬あります

？

ソフィア！

アンセルム！

でも、いったい何を
作っているんだい？

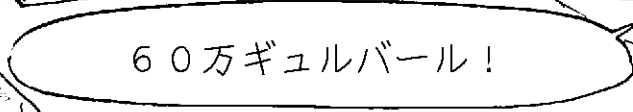
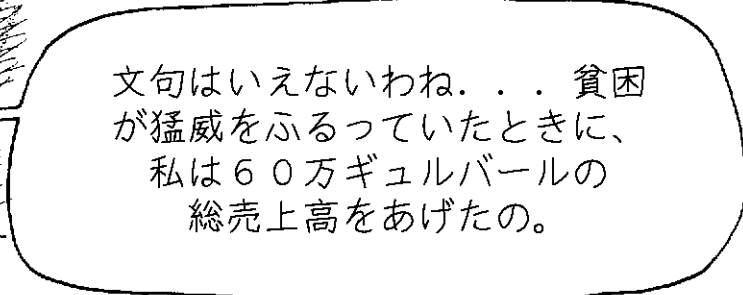
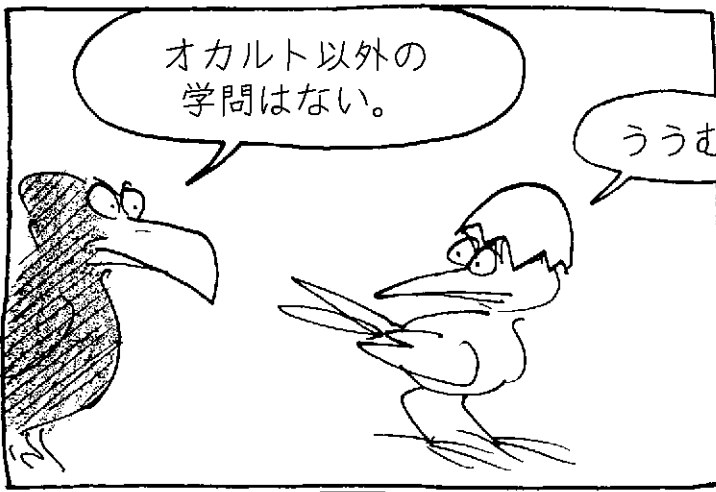
分かるでしょ、別の勉強をしたの。

私も似たような
学問の研修をしたよ。

超心理学の何に
反対なのだね？

君の言いたいのは... 魔術か？

あら、すぐずいぶんな
言い方をするのね！



裕福でも貧乏でも、
お金があればどうでもいい...

カー!カー!
カー!

この腐った世の中では、
私にとってお金の威力から
逃れさせるべきものは
もう一つしかないわ...

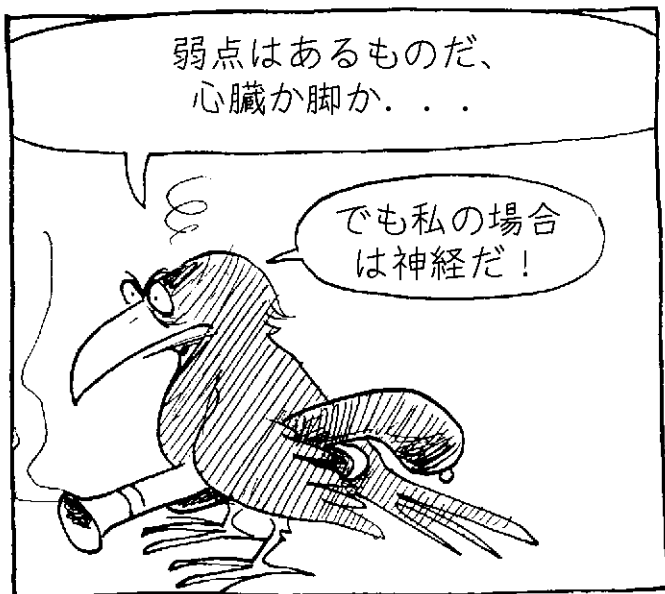
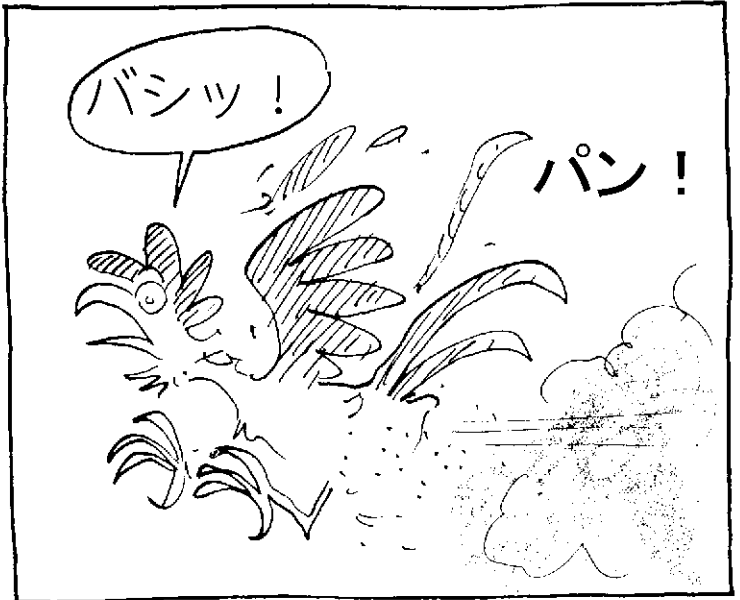
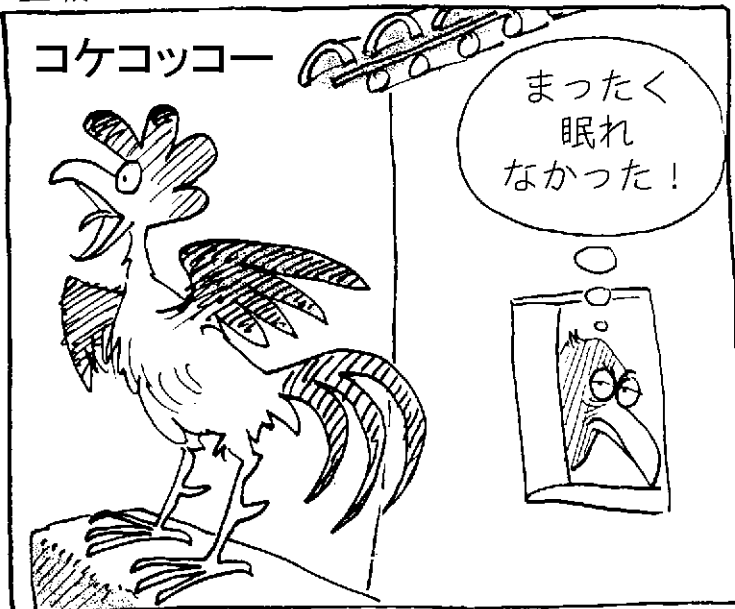
何か分からないの?..

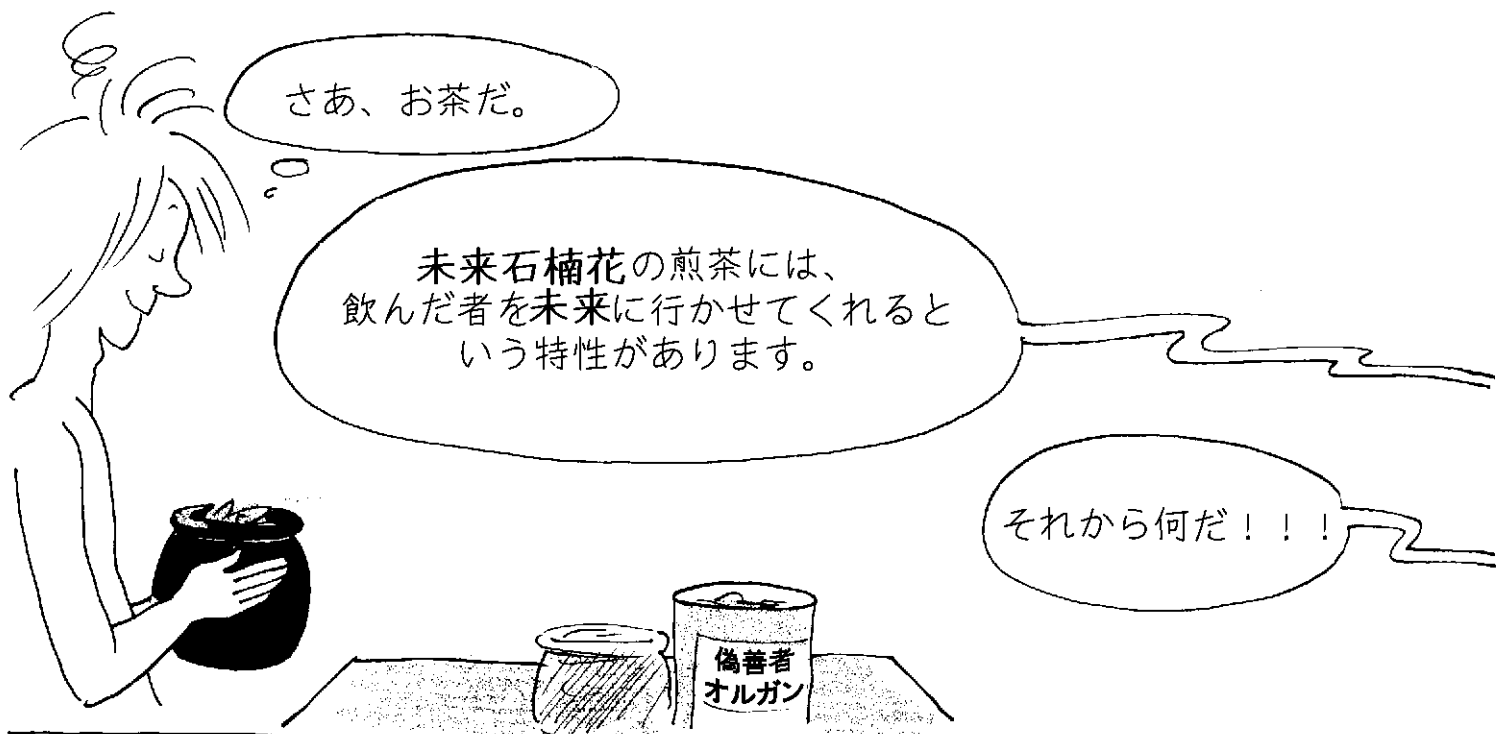
うーん、いや。

いや、
分かった!

結局...

この漫画のこの場面には、
恥ずかしいので覆いを
かけましょう。





(*)有名な錬金術師



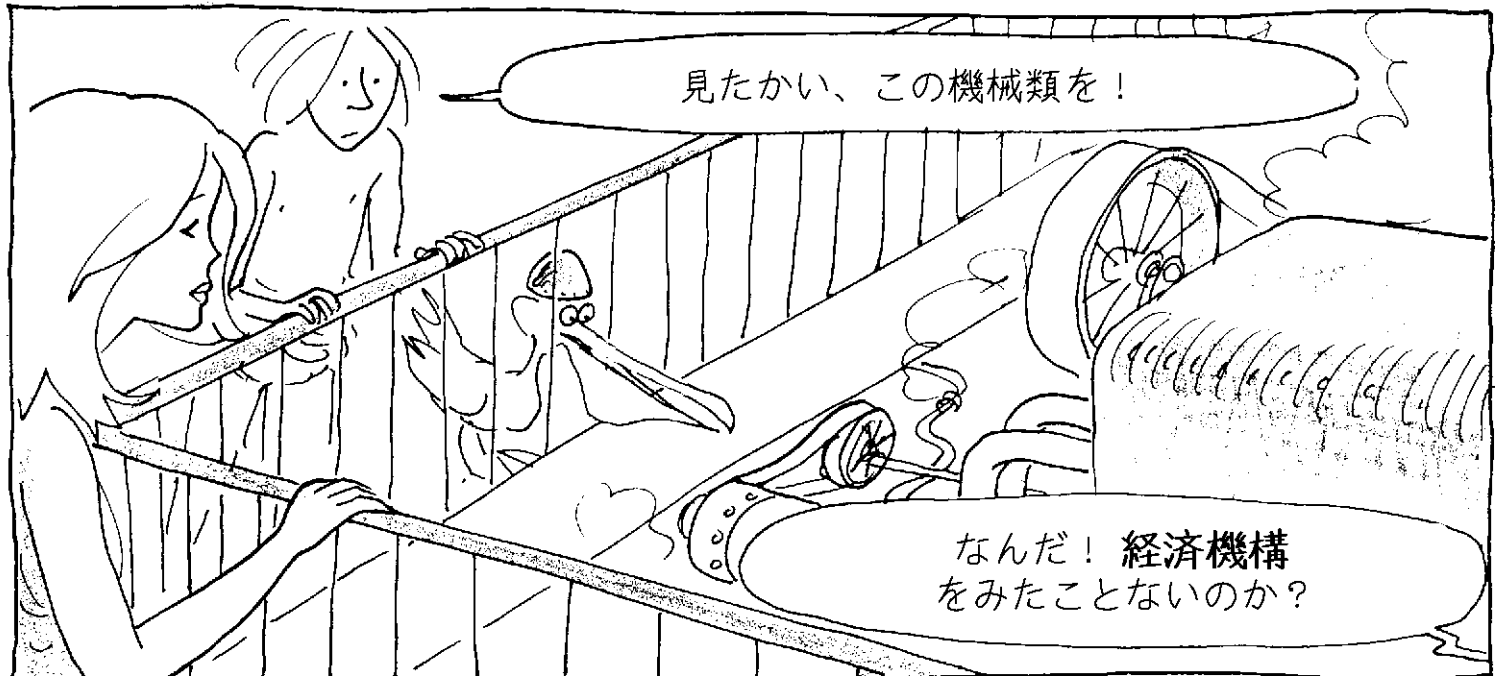
ソフィア?

ここよ。



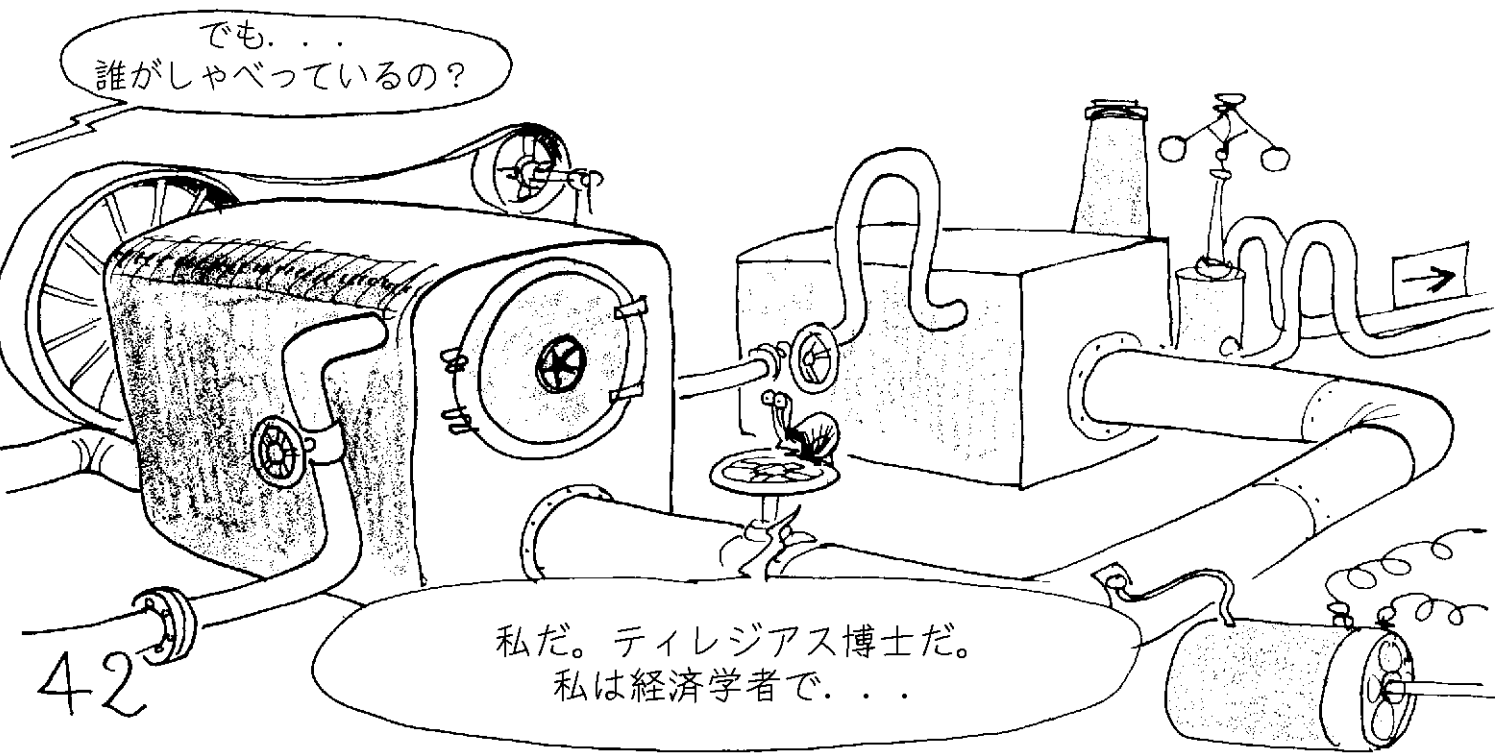
でも、私たちいったいどこにいるの?

私たちは、場所をかえたわけ
ではない。しかしアンセルムのばか
が茶と未来石楠花の煎茶を間違えた
ものだから、別の時代に
きてしまったのだ。



見たかい、この機械類を!

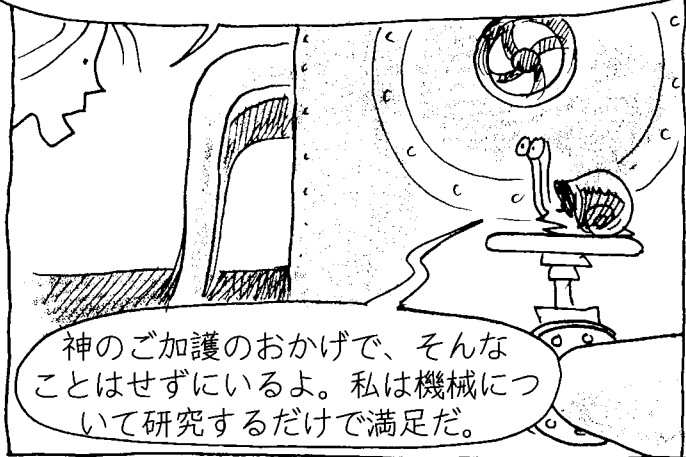
なんだ! 経済機構
をみたことないのか?



でも...
誰がしゃべっているの?

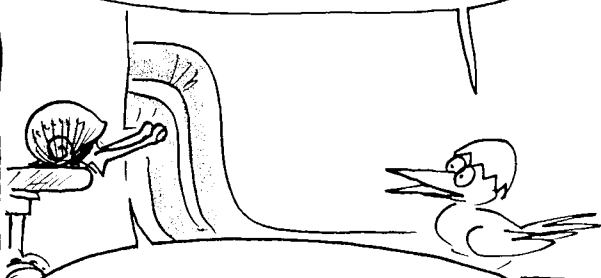
私だ。ティレジマス博士だ。
私は経済学者で...

この機械をつくったのはあなた
だとおっしゃりたいのですか？

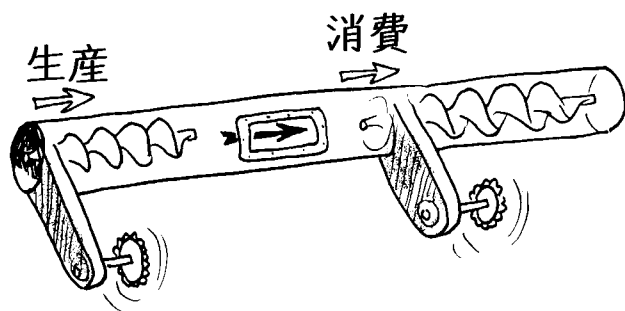


神のご加護のおかげで、そんな
ことはせずにいるよ。私は機械につ
いて研究するだけで満足だ。

この配管はいったい
なんなんだ？

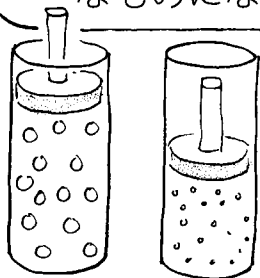


これらは **経済流通** だ。

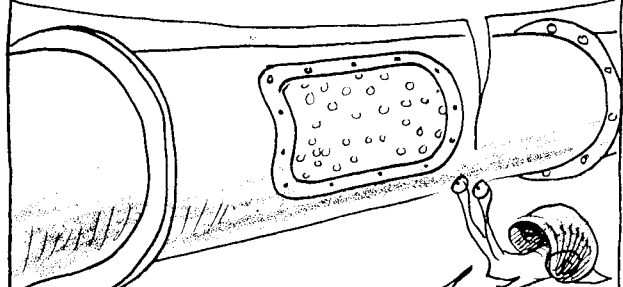


配管の中では、経済の流れ、
お金が2種類のねじポンプに
よって動かされている。ねじ
込み型のポンプは **生産** とよばれ、
後続する、吸い上げ型の
ポンプは **消費** とよばれる。

お金はエルゴルと空気の混ぜ
合わせである。エルゴル(*)は
圧縮不可能な液体だ。しかし
空気の泡があるために、全体、
すなわち **お金** は圧縮可能
なものになる。



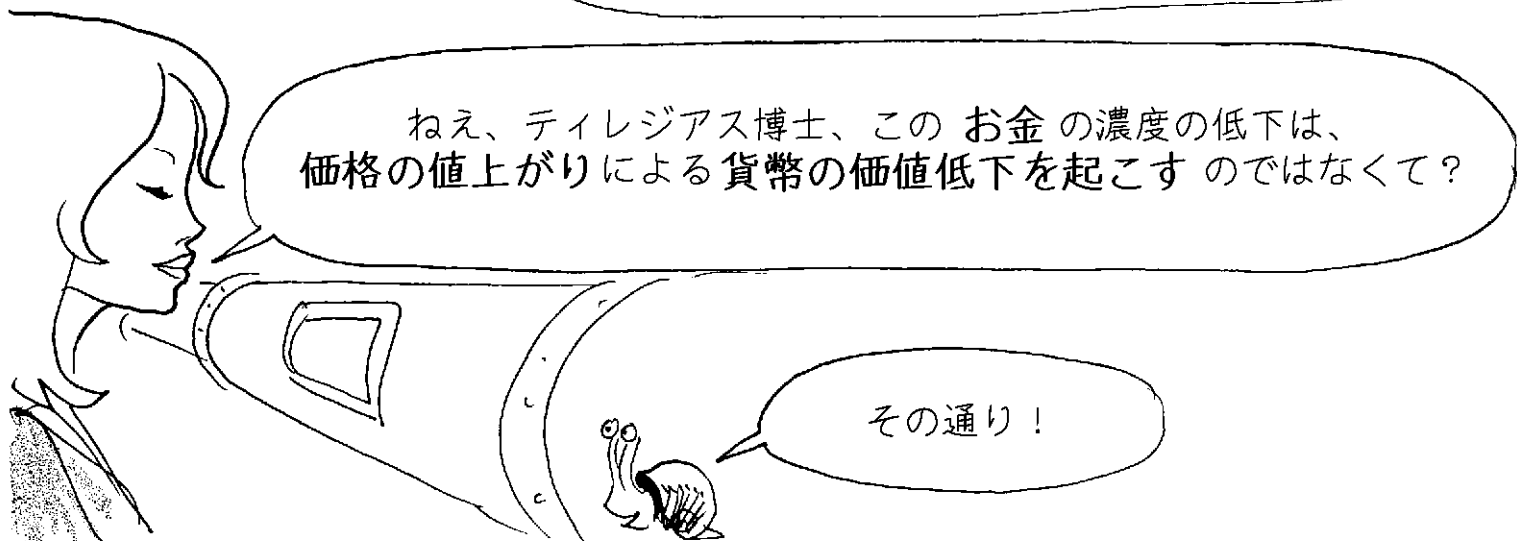
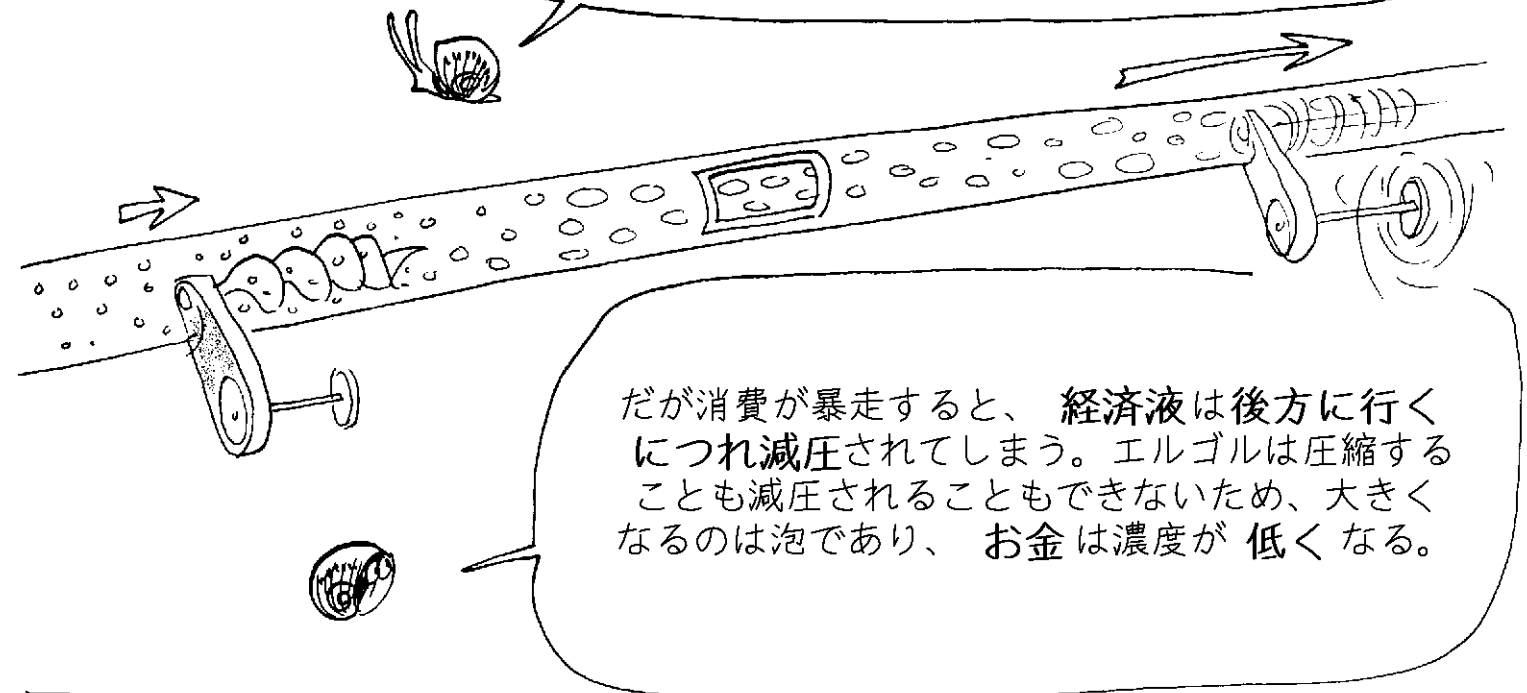
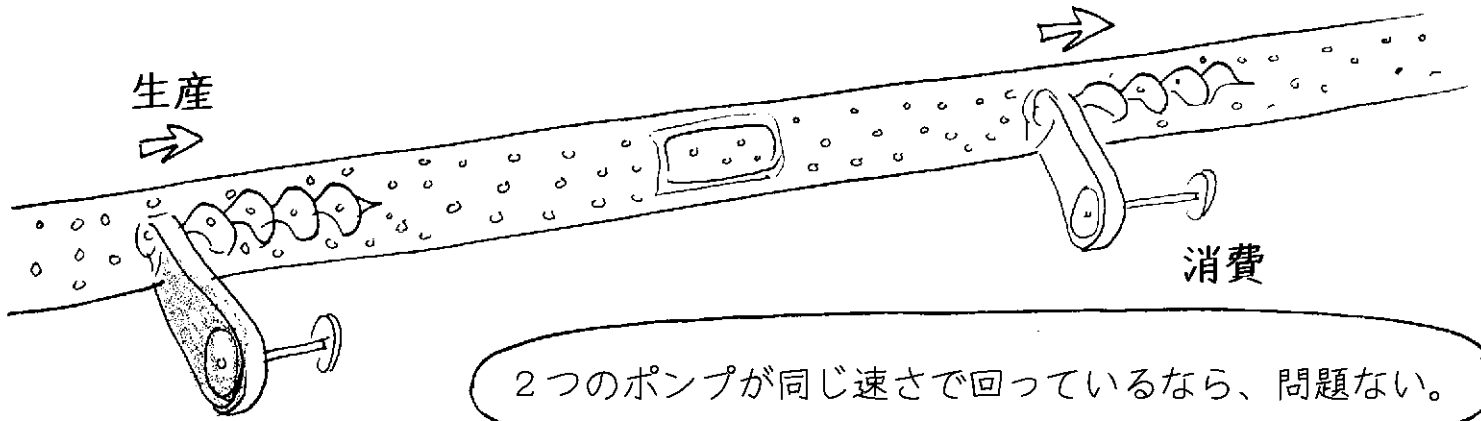
生産のポンプと消費
のポンプの間には



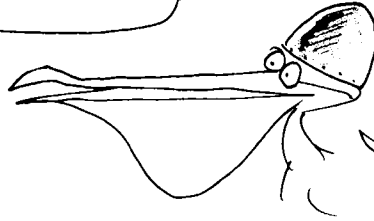
経済液の **比重** を見る
ことのできる窓がある。

(*) 語源はエルゴスというギリシャ語、
意味は労働

お金動力学 の第一法則



生産ポンプの回転数は **供給** で、
消費の回転数は **需要** のことだ。

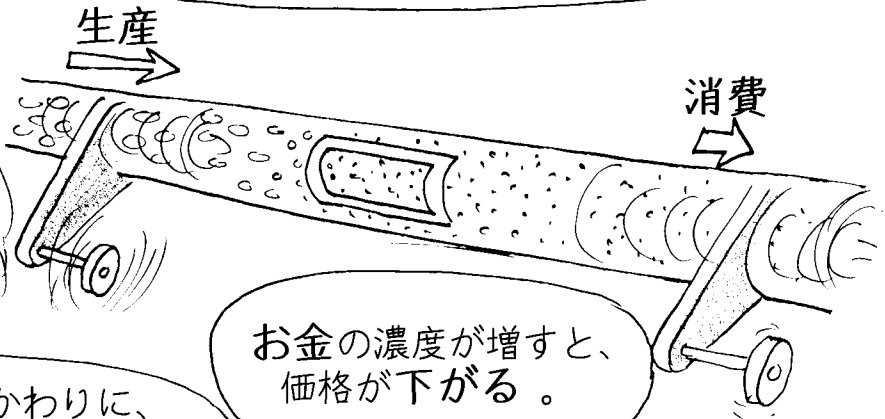


これらの回転数が同じとき、
あるいは同じように、
同時に変化するとき、
お金は同じ濃度を保つ。
価格は安定している。



消費のポンプがさらにお金を引き込みだし、
生産のリズムがそれに追いつかないと、お金は
減圧されて、濃度が低くなり、**価格が上がる**。

待て...



消費はいつ増大するかわりに、
勢いが **弱まる** んだ？

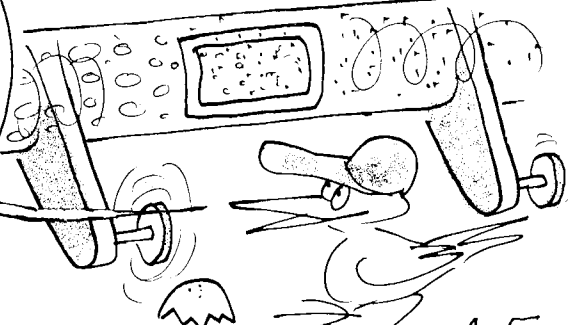
お金の濃度が増すと、
価格が下がる。



消費のリズムが一定のときも同様で、
生産の勢いは弱まる。お金は減圧され
価格は跳ね上がる。生産が加速
されると、**生産過多**により
お金が圧縮され**価格が下がる**。

生産

消費



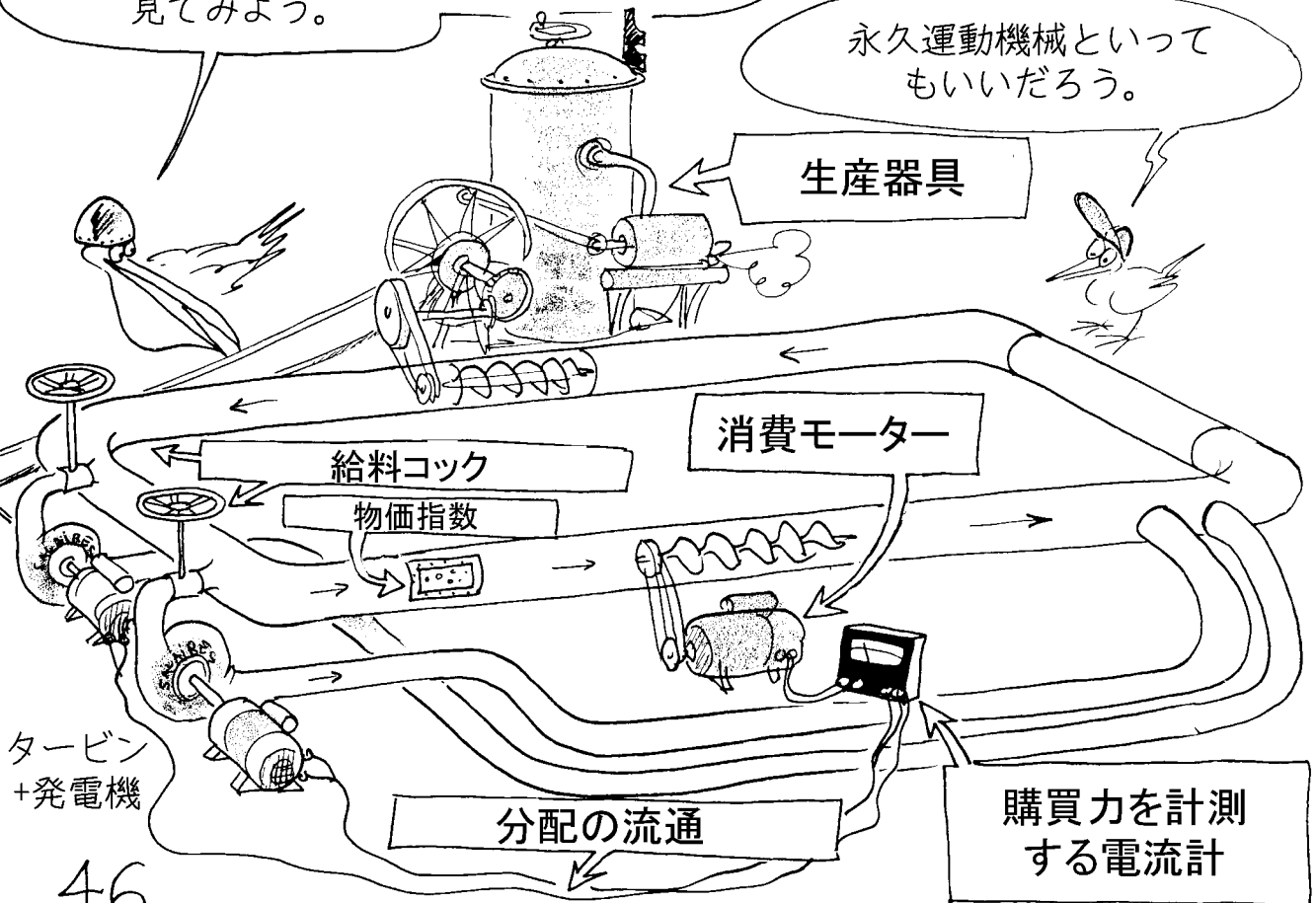
このようにして、価格は消費と生産、需要と供給の関係に応じて自動的に決定されるわけだ。

生産ポンプを通じて毎秒ある量のエルゴルが通っていく。この量-流れは、消費ポンプを通るものと同じである。

そして体積量とエルゴルの重量の比率は、消費ポンプの段階では、物価指数と呼ばれる。

この経済機構をもっと近くから見てみよう。

永久運動機械といってもいいだろう。



いやいや、これは
永久運動機械ではない

私は、そう
じゃないかと思って
いたが...

導管の中では摩擦、電線の中では損失がある。
エネルギーの供給によってしか全体は動かない。

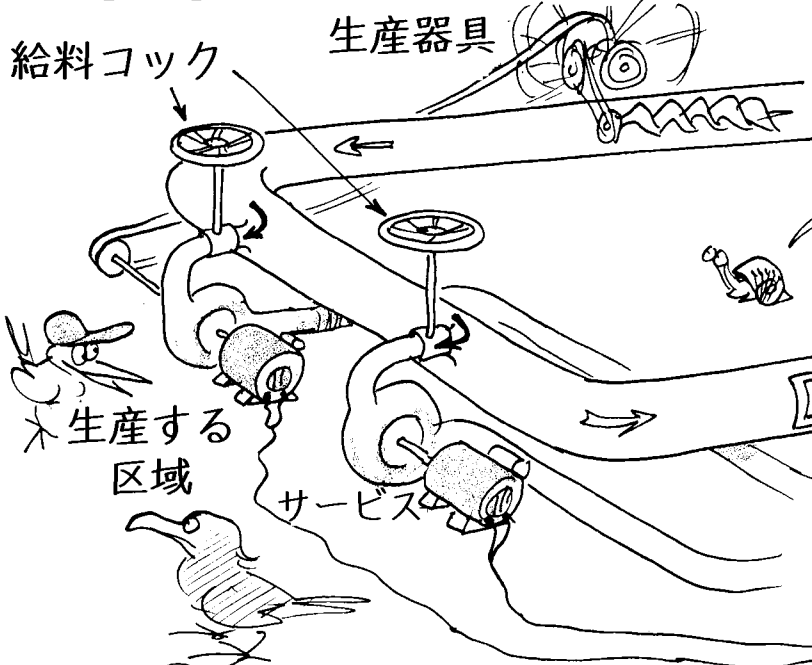
お金力動学の第二法則

お金力動学の第二法則は、
次のように言える。
独立した経済機構は存在しえない

買うだけ、売るだけ、
物を配給するだけという
ことはできない。何らかの形で、
どこかで原材料とエネルギーを
もとにした**生産的な仕事**が
なされなければならない。

その通りに
思えるな

生産に関与する区域と 関与しない区域



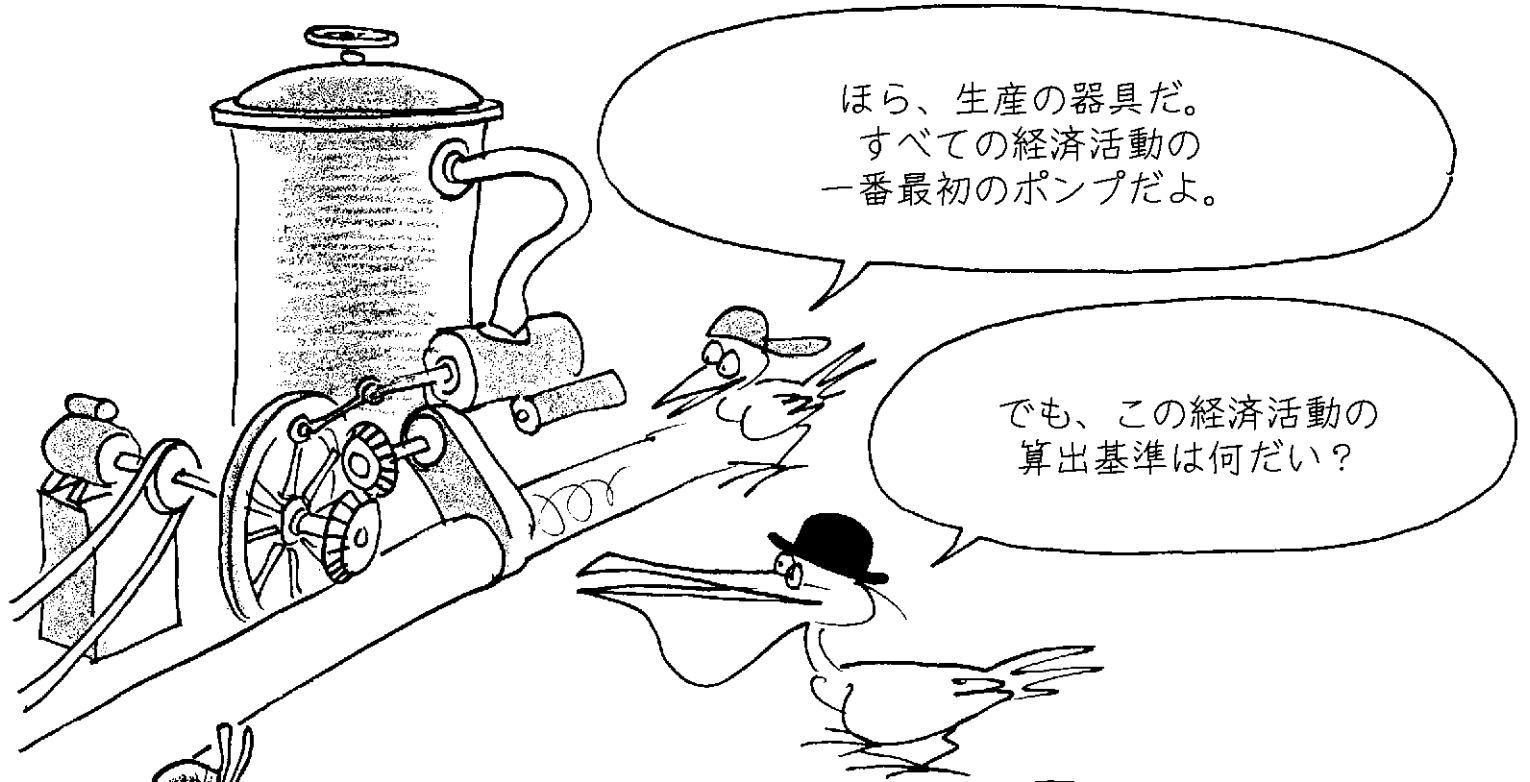
お金の一部は、消費の発電機にエネルギーを送る給料タービンから出てくる。

いくつかのタービンは生産器具に直接つなわれ、結ばれている。それらのタービンは、第一、第二産業区分と呼ばれる。

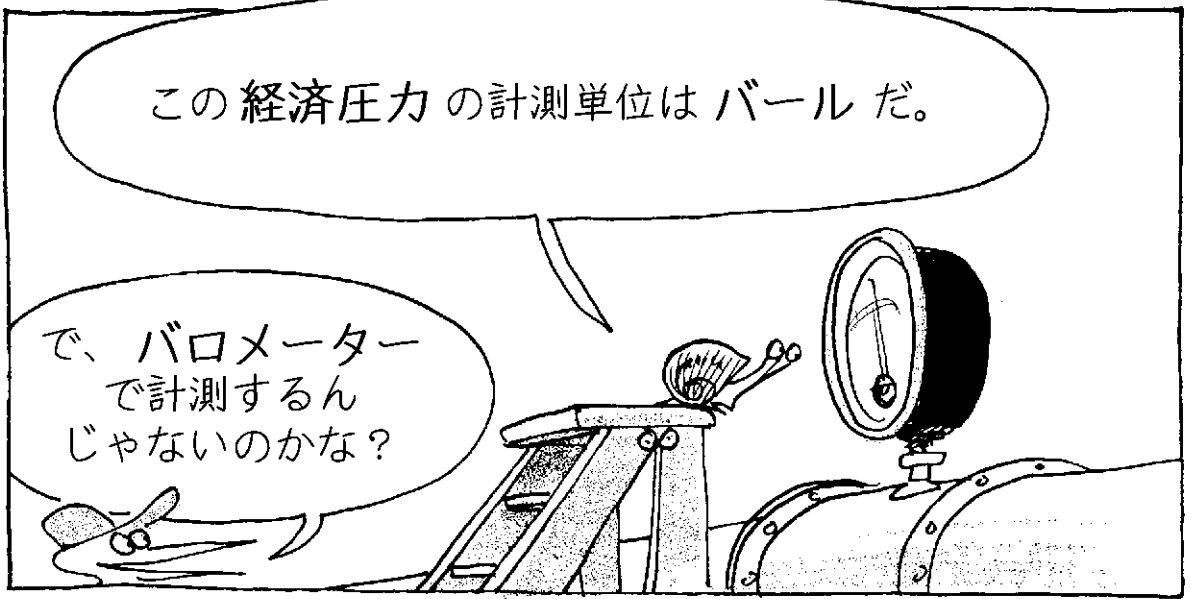
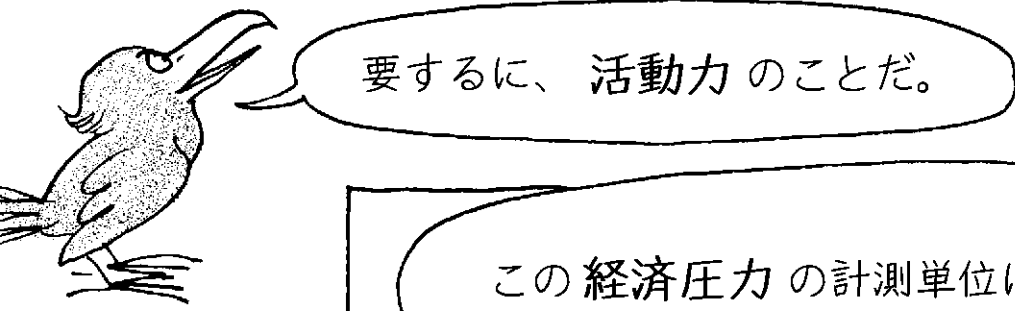
賃金労働者は一年中ずっと目が回るほど働き、この活動は目が回るほどの労働と呼ばれる。

全部よくできた仕組みのように思えるけど。どこに問題が？

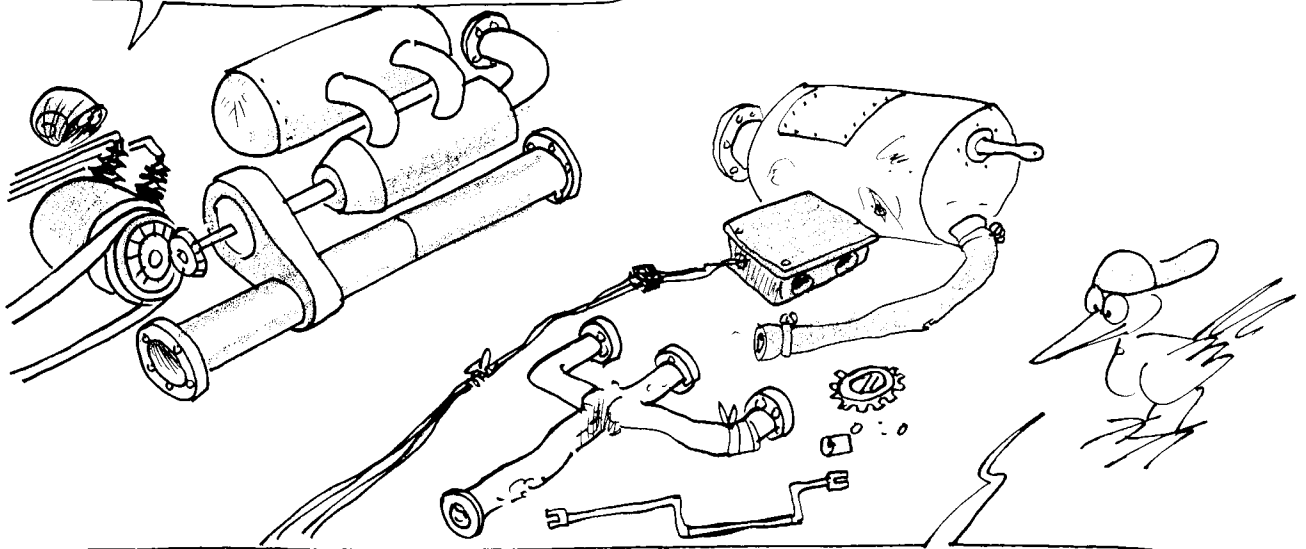
生産性



そうだな、経済活動は以下と同等である
エルゴル量二分の一×流通の速さ

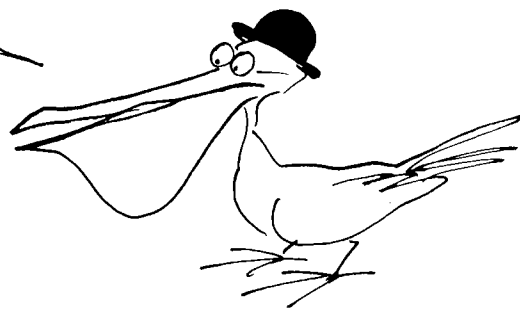


経済活動を増大させるため、エルゴル量、つまり 産出される労働量 を増やすこともできる。だがこの労働の活用、配分方法、つまり 生産性 を向上することも大切である。



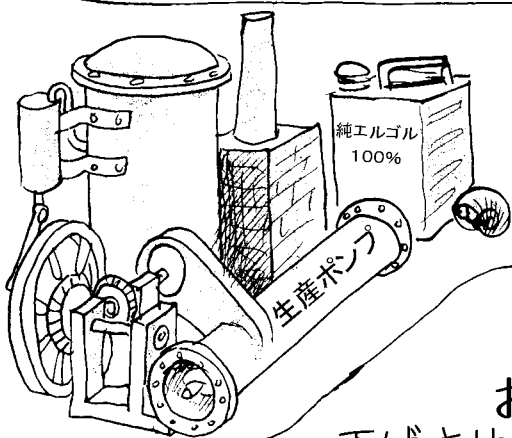
そう、前の設備を2重、3重に増やすより、もっと大きくて近代的で、大きな直径の、切断面の大きい電気伝導の管がある機械にかえたほうがいいよ、

一つ不思議に思うことがまだある。経済機構全体におけるお金の量は何が決めるのだろうか？

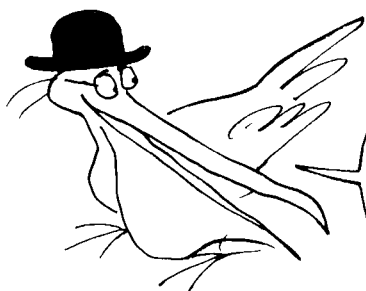


発展と貨幣量

経済体制の**実際**の状態とは、そこで流通するエルゴル量のことである。それは**お金**の高密度の部分で、**労働力**とこのエルゴルの**流通の速度**の和である。この機構に新たな**生産ユニット**を加えたらどうなるだろう？



この生産器具は、エルゴル量満杯で購入されている。そのため当然、**お金濃度**を高める傾向(それゆえ**価格**を下げさせる傾向も持つ) **労働力**の増大がおこる。増大期に泡をいくつか加える、つまり**貨幣量**を**価格**の**安定**を保つように増やすのはそれゆえ、当然である。



実際は何食わぬ顔で、毎回ほんの少しずつお金を足すと賭けていい。事実それは少しばかりの、物価調整分の追給となってあらわれる。

増大期にいると仮定してみましよう。マックス、あなたは生産区域の賃金労働者の役をやるの、それから君、アルベールは、非生産区域の賃金労働者の役をやって。

なぜ非生産区域なのだ？

そう、君はサービス業と行政を表すんだ。

さあ、新しい生産ユニットが経済機構に加えられました。具合は良好。経済圧力計でプラス12バル。

このユニットを始動させたことで、雇用が供給され、失業が少なくなる。しかし賃上げ要求はさらに活発になる。

供給量を増量してくれ！

OK、供給量を増やすよ

価格は...
大丈夫だ...
ゆっくりだ...

強度があがっている。
配分の流れにおける
損失もそれほど
はないわ

配分ポンプのエルゴル
供給量が増えている。
生活水準があがっている。

しかし、この新しい
生産ユニットは、ひとり
ではできないのでは？

そうだ。生産器具を近代化
させるため、革新を回すのに
お金の活力の一部を取り出
さねばならない。

投資

はい！

これは絶え間なく
しなければならぬ、で
ないと生産器具は取り返し
のつかないほど古くなって
しまうのだ。

近代化
革新

バタコン
バタコン

完全にいかれている

配管が
つまっている

回線(配分のネットワーク)はむしばまれる。
いたるところに損失がある。

資本、利潤、 税、貯金

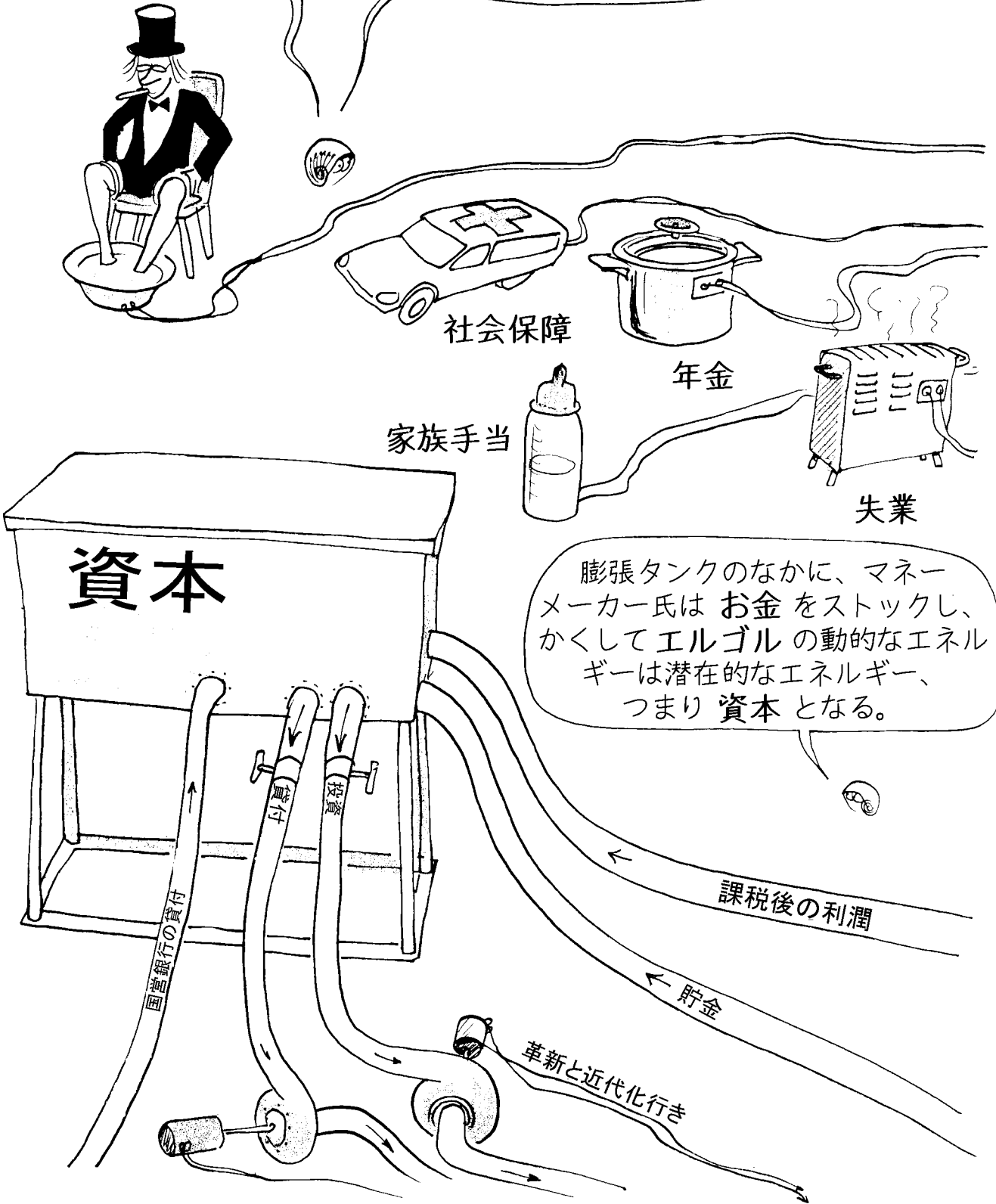
生産費用



お金の流通には多くの分流、様々な負荷による損失の負担がかけられる。すぐに生産ポンプの後方で、エルゴルが発電機に連結されたタービンを作動させる。動力の一部分はかくして、社会保障負担分と呼ばれる負荷の流れに、取られて送られる。生産費用における別の一部分と残りの部分は、マネーメーカー氏の足湯の湯を温めるために使われる。

こちらは
マネーメーカー氏...

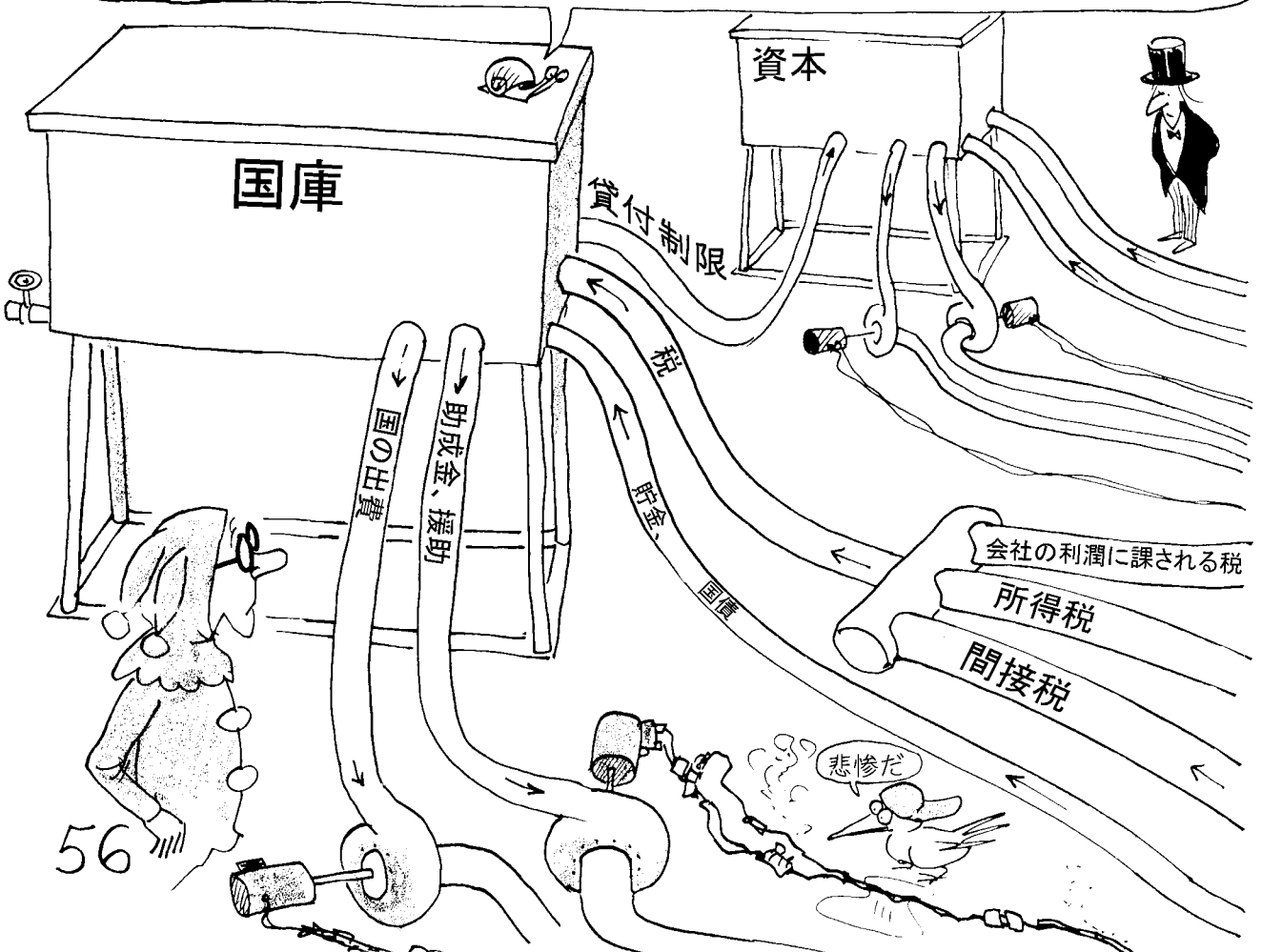
そしてこちらは
社会保障負担分



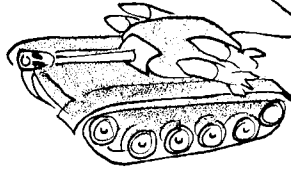
資本タンクは 課税後の利潤 と、私たちが貯金と呼んでいる何がしかのものによって供給される。

逆に、膨張タンクのなかの お金 は、発電機につながれた2つのタービンに送られるかもしれない。一つは私の機械、近代化と革新の機械にエネルギーを供給する。別の機械は 商業貸付け と呼ばれる。

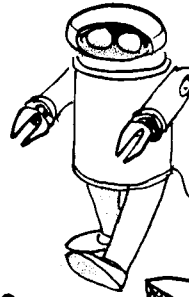
財務災害大臣はよく似た箱をもっている。彼は 税 によって箱にエネルギーを供給する。彼はまず途中で、会社の純利益へ課税して税金を取り上げる。それから 直接税を、収入 からとる。最後に、消費ポンプの前方で、間接税、例えば、付加価値税をとる。



ほら、国の出費だ



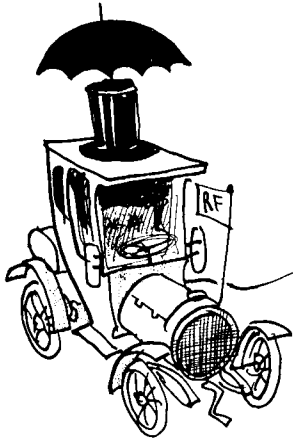
軍



教育—研究



社会的なもろもろ

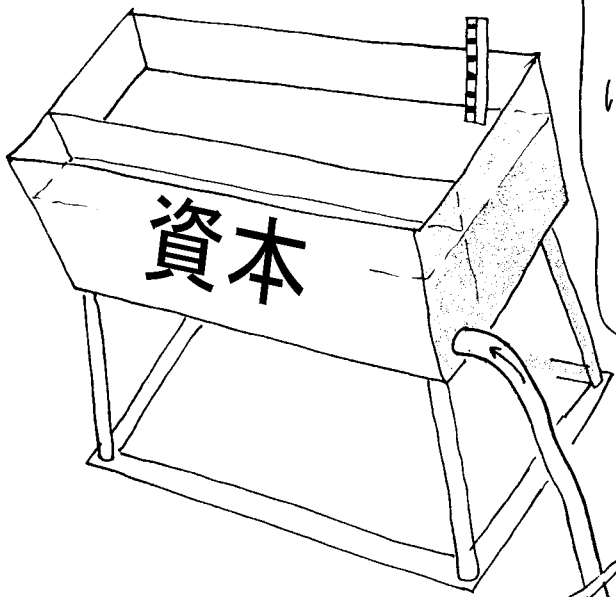


これは、国家の命運
をにぎる車じゃないか？

それから貯金、貸付は、
どんなふうに機能するんだ？

この膨張タンクは、国庫と資本であるが、
どちらも、調整機能を原則とする。経済機構が
不安定であることは既にみた、消費と生産の間に
常に相互作用があるためであり、経済機構は
常に暴走し、価格を上げる傾向がある。

この2つの膨張タンクに、賃金労働者に彼らのお金
を入れさせようとするわけだ...

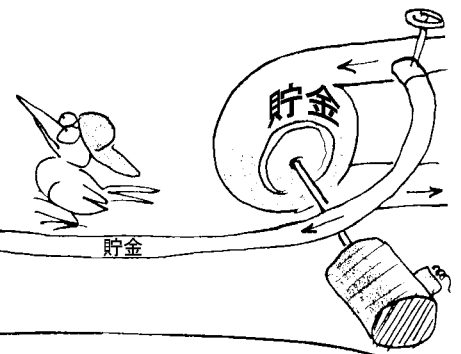


私たちの経済を増大させるこのすばらしい運動に関与しない理由は一つもありません。私のお金槽に、あなた方のをいれられる特別な区域(*)を用意しています。こうして資本の水位は資本量の全体的な増大にいたるでしょう。



何の危険も冒しません。毎年ある程度の収入を保証します。あなたのお金を運用してください。

この預金のおかげで投資ができ、私たちの経済機構を近代化することができる。



お金を安全に管理しましょう。将来のことを考えてください。毎年ある程度の収入を保証します。もしあなた方が節約して貯めたお金を、私たちに十分長く預けてくださるなら、課税の点でささやかではありますが何かしましょう。

あなた方の預金のおかげで投資ができ、私たちの経済機構を近代化できるのです。

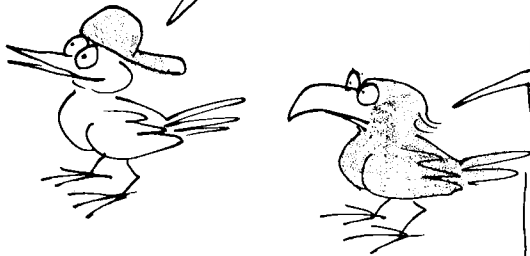


ふむ...

(*) 民間の銀行、株式

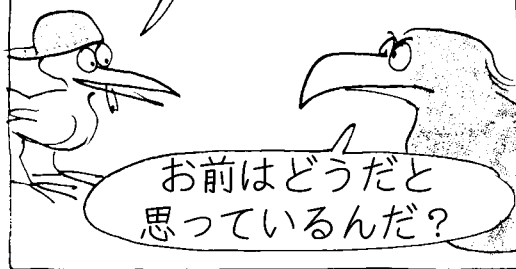
いくらか経って

大きな見返りがないな。しかし、見ただろ、少し量は増えた



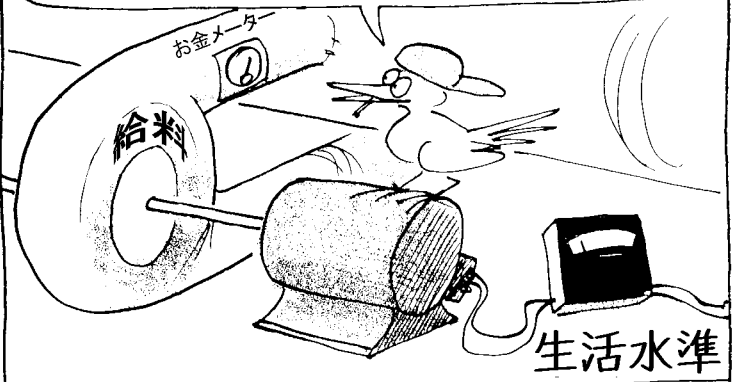
なんて純粹なんだ。経済活動は発展する。新しい生産ユニットの始動は総エルゴル量の増大と一緒に起こる。しかし泡をたくさん入れるものだからお金の濃度は絶え間なく下がる。そして、要するに、お前は損をしているんだ。

私たちが貯めたものの中では、エルゴル量、つまり混合物の濃度の高い部分はあがる代わりに下がっているというのかい？



お前はもうだと思ってるんだ？

でも私たちの賃金は上がった。預金はほとんど2倍になった！見るよ...



だが、お前がめまぐるしく働いて動かしているのは風だ、どんどん濃度が下がっていくお金だ。強度を試してみろ！

消費ポンプ



強度は、ほんの少ししかあがっていない...

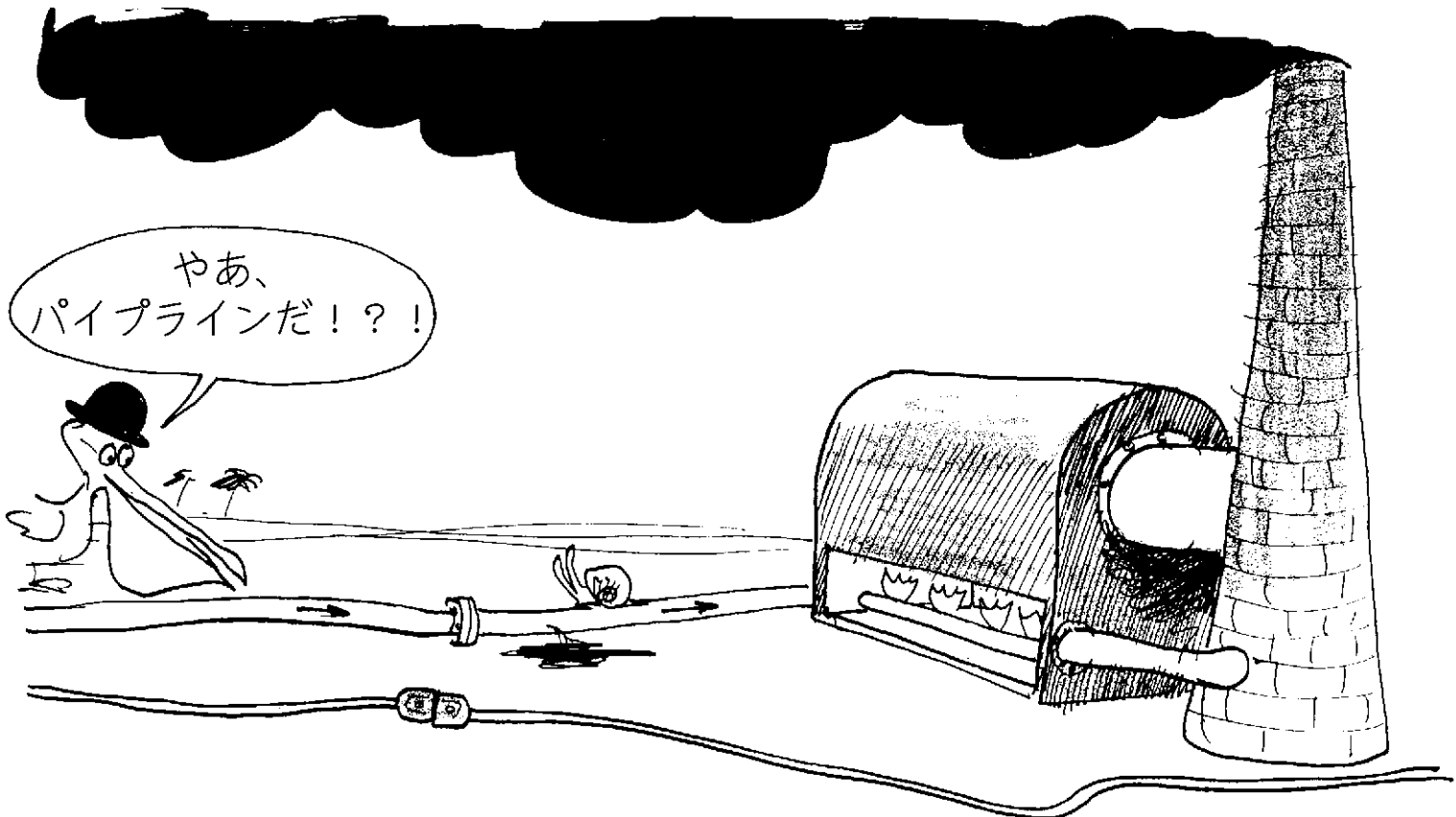
真の経済成長は、流通するお金の量ではなく、
含有されるエルゴルによって決まる。
生活水準の向上も同様で、**流量**(給金)で
はなく**強度**(購買力)によって決定される。

お金を貯める方法は他にないのかな？

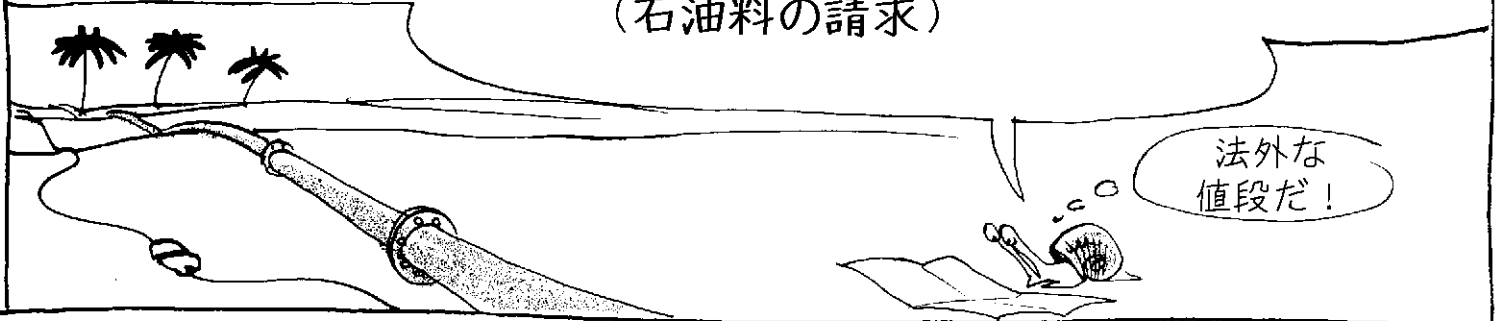
同じ重さで貯めて
おきたいのであれば、
凍結しておけばよい

すばらしい考えだ！
インフレーションを避けるため、
この悪いやつは貯蓄をむしろ
からな、全部凍結すれば
いいのだ！

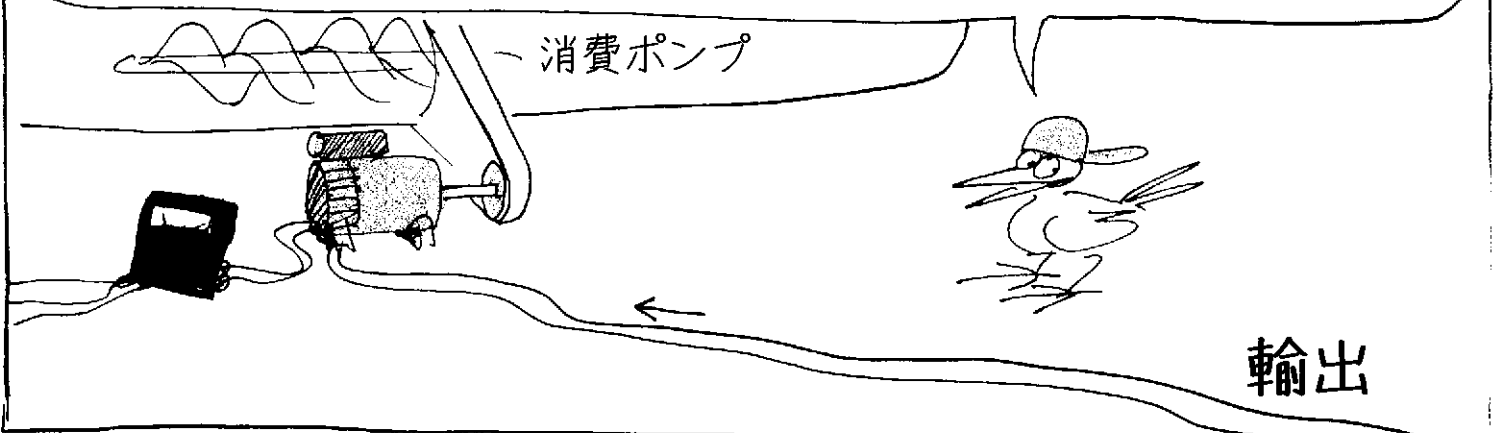
しかしそうするとお金はその価値をなくす、
お金に価値があるのは、**流動体**のときだ。
資産凍結は経済機構を妨げる。



経済機構のボイラーは、遠くの、そして砂漠の地域から送られてくる、この貴重な液体を使って暖められる。この液体を送らせるためには、多量のエネルギーを使わねばならない (石油料の請求)



代わりに砂漠からラインがきていて、消費ポンプに多かれ少なかれエネルギーを供給する (輸出) (*)



(*) 経済の国際化、インフレーションの国際化を扱った本を描く予定

オイルショック

さあ、災難だ

郵便を
見てみよう



おや、足湯が冷たくなったぞ!

当たり前だ。すべての
電流は生産コストの
ラインに逃げて
いってしまう

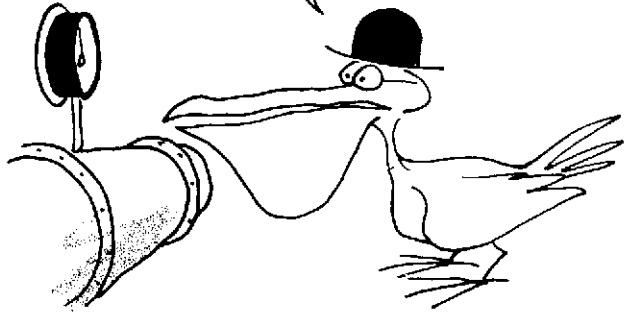
生産コスト

社会保障負担分

ほら、お前たち、
回転数が減っている、
圧力が下がっている

何が起こって
いる？

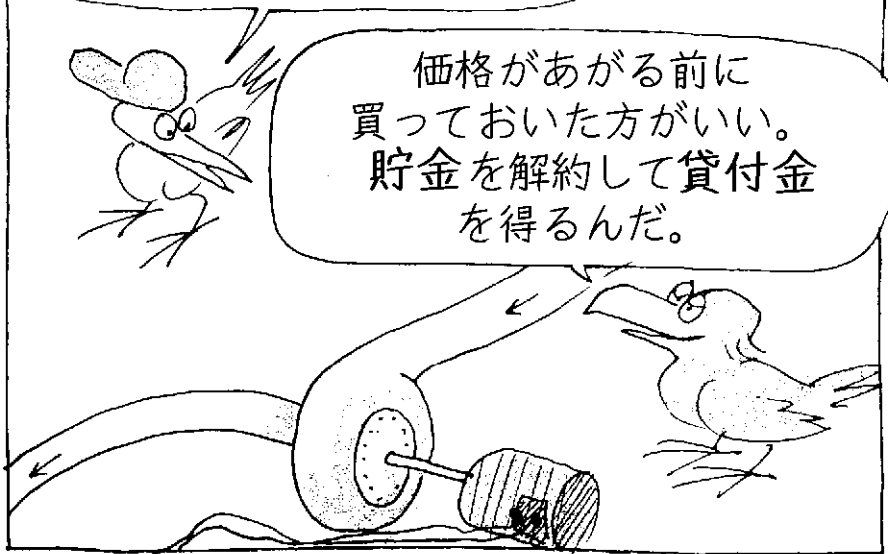
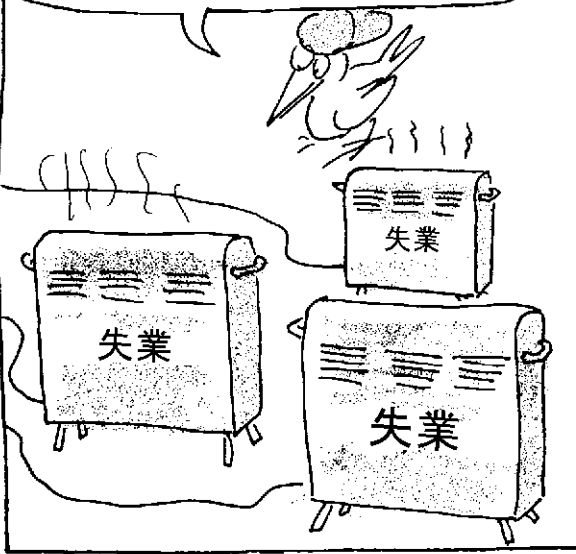
マネーメーカーが収益の
見込めない生産ユニット
を閉鎖したんだ。



失業が増えている

何をしているんだ？

価格があがる前に
買っておいた方がいい。
貯金を解約して貸付金
を得るんだ。



で、マネーメーカーは
何をしているんだ？

マネーメーカーは... 偽金を
つくっているってことか？

こっそり自分のタンクに空気を
戻らせているんだと思うよ。
(信用貸しによるインフレーション)

いや、そういうわけではない...
しかしこの銀行のシステム、
この書類すべて、信用貸付の契約
は... 極めて貨幣に似ること
になる。そしてある日マネーメーカー
のタンクを空にしたら、びっくり
することになる...

貸付に頼ることと信用の
損失は消費を速めた。
価格は跳ね上がっている。

資本

マネーメーカーはお金を
貸しすぎる。しかし、事実、
私も、彼に貸している。

貸付へ走ることを止めさせなければ

じゃあ、皆が皆に貸付するのか？

ああ、分かるだろ、この貸付の中には、たくさんの風がある。

彼への貸付を減ら
そう、そうすれば
彼も貸付するのに
慎重に考えるだろう。

よし。この貸付の厄介事を少し
抑えよう。しかし国庫の水位は
全速力で下がっていくな...

どうすればいい？
直接税をあげるか？...
間接税を？...
会社の利潤に課す税は？...

何だと、
私の投資は！！

すべての税を...

流量の増額を要求する!

財務災害大臣、管の中の圧力が急降下しています、バロメーターは下がっています

やあ、箱はほとんど空だ!

おや、誰がこんなものを持ってきた?

威信

国庫によってエネルギーを供給されている、でかい電球だ。

これで遠くからでも私たちを見ることが出来る。

威信

なに!? すぐに消してくれ、でないと虐殺されてしまう!

流量を増やせ、さもないと働くのをやめる

分かった、分かった... すぐにする。

解決策は一つしかない

財務災害大臣は
何をしている？

お金の流れにこれらの
巨大なタンクをつない
でいるところだ。

こうやって国庫に
エネルギーを供給しながら

これらの貯蓄は巨大だな。
予想外だが、これで安心だ。
でも中身は何だろう？

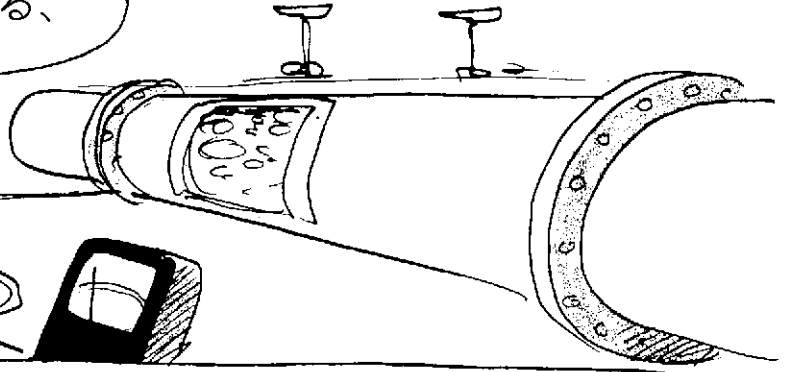
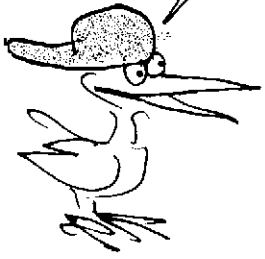
誓って
知らん

やあ、やっと流量の
増量だ。あんまりはやく
はなかったな！

いまいましい強度め、
消費ポンプはすごい勢い
で回っている

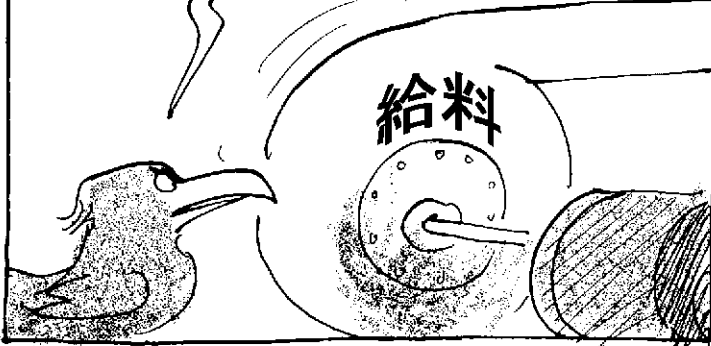
おい、気をつける！
価格が！！！！

結局、どうでも
いいや、機械の回転はよくなっている、
ポンプは生産している。



ああ、しかし、見てみる、いたる
ところで強度が下がっている。

それは普通じゃないな。
精一杯働いているのに、
何の効果もないみたいだ。



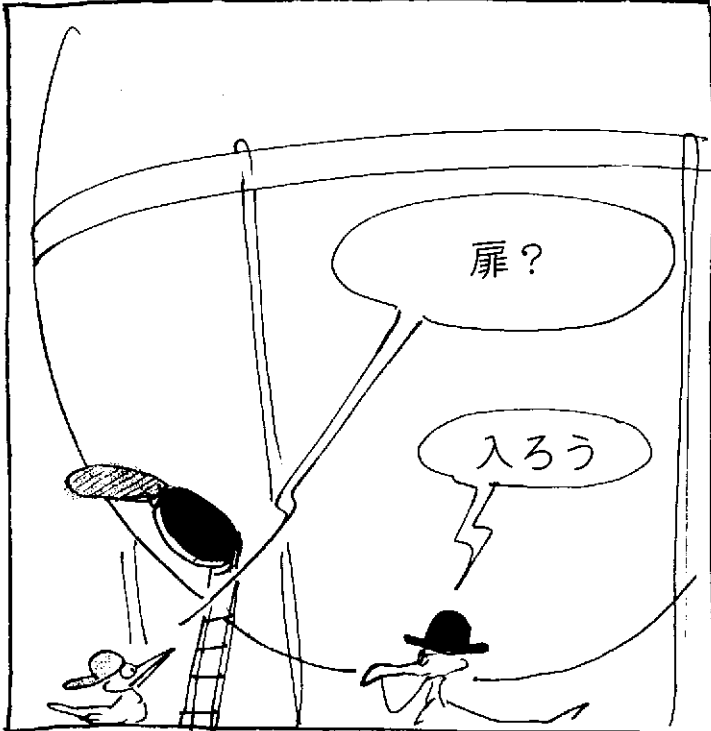
財務災害大臣は
経済液に何をいれたんだ？



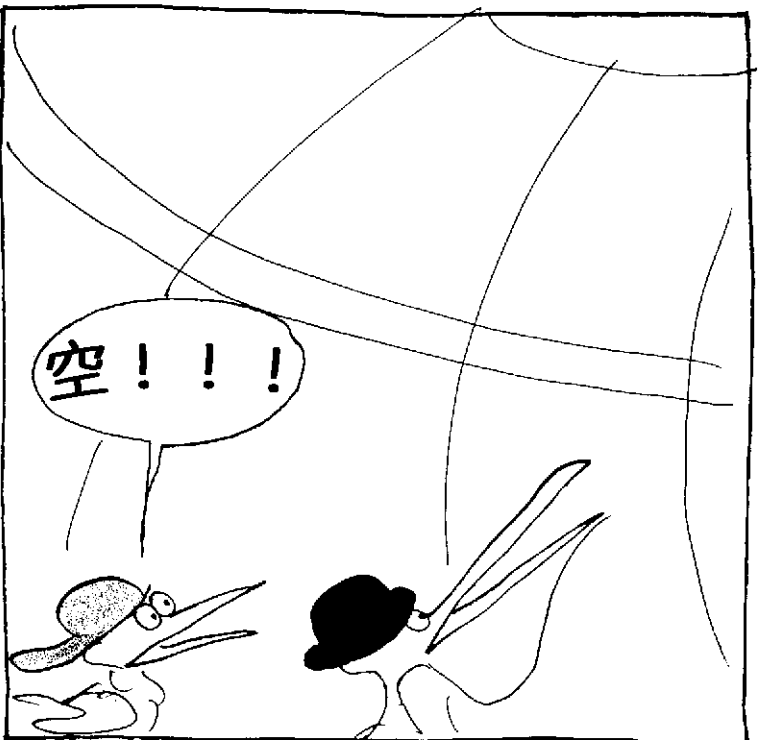
例のタンクを見に行こう。

扉？

入ろう



空！！！！



これらのタンクも既に空
だったっていいのかい？

いや、それらは
常に空だった！

上手くいっていないとき、
財務災害大臣は皆同じことをする。
管の中に大きな 風 の泡を注入
するんだ。最初は、お金が動か
される、一種の 激励 だ

貯金の価値が下がる

ちえっ、
私も貯金を解約するよ

一種の 経済的な空白
ってこと？

何も何にもない？

だがすべて均質化され、
結果 お金 は濃度を失う。

価格はあがる。

資本も同様だ...

マネーメーカー！

資本が漏れた！
ああ、悪党め!!!



間に合った!...



マネーメーカー、
あなたの資本が必要だ

子供のような
まねはするな!

彼はどこにいった?

なんだ、
凍っている!!!



マネーメーカーめ、
メモを残していった...

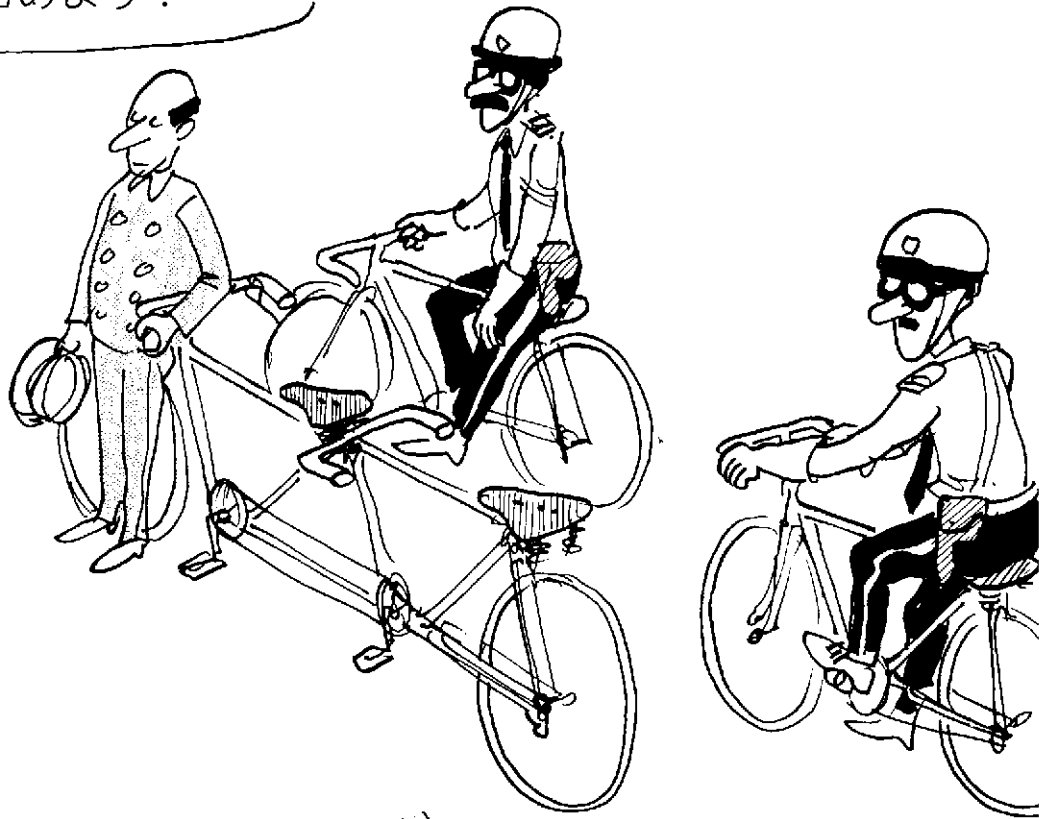
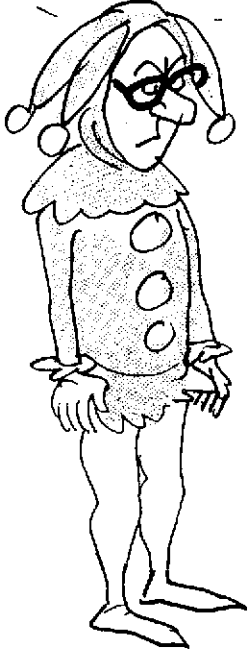


給料を止め、社会保険負担分、
会社の利潤課税を減らし、
投資するための助成金をくれ。

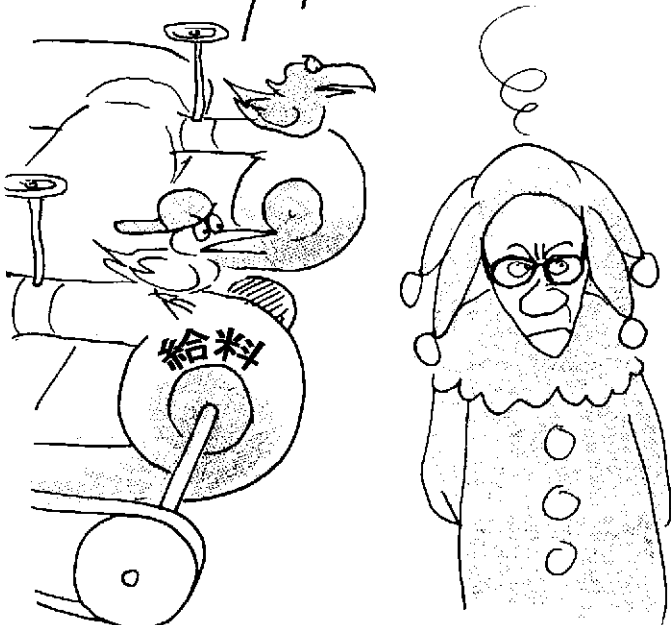
マネーメーカー

だが...
購買力は急降下した。人々は文句をたれるだろう。
それに消費ポンプの回転数は下がるだろうし。

石油の糞つたれを少し節約
するところから始めよう！



お金はもう何の
価値もない。流量増量！！



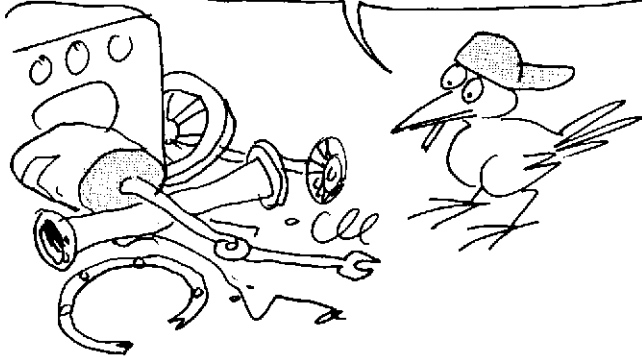
私たちが言って
いた通りだ！

ばかばかしい！

荒廃は保証
されている
な！..

だが、
私が財務災害大
臣だったころは、
ここまでではな
かった..

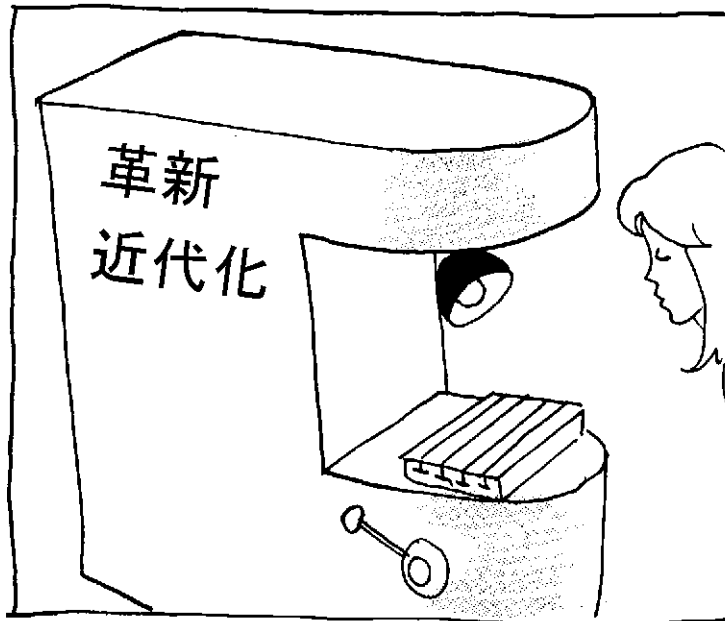
やあ、また生産ユニット
のプラグがぬかれた



別のをつくら
なきゃな...
たくさん...



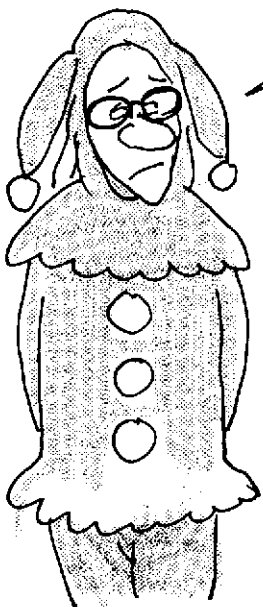
財務災害大臣...



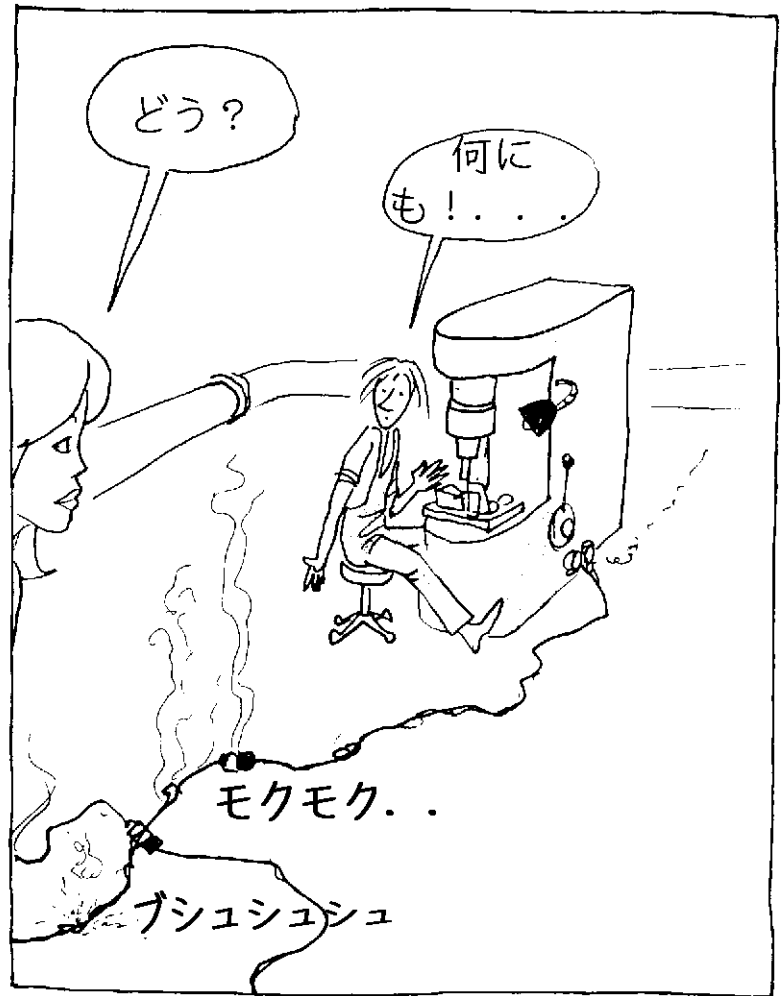
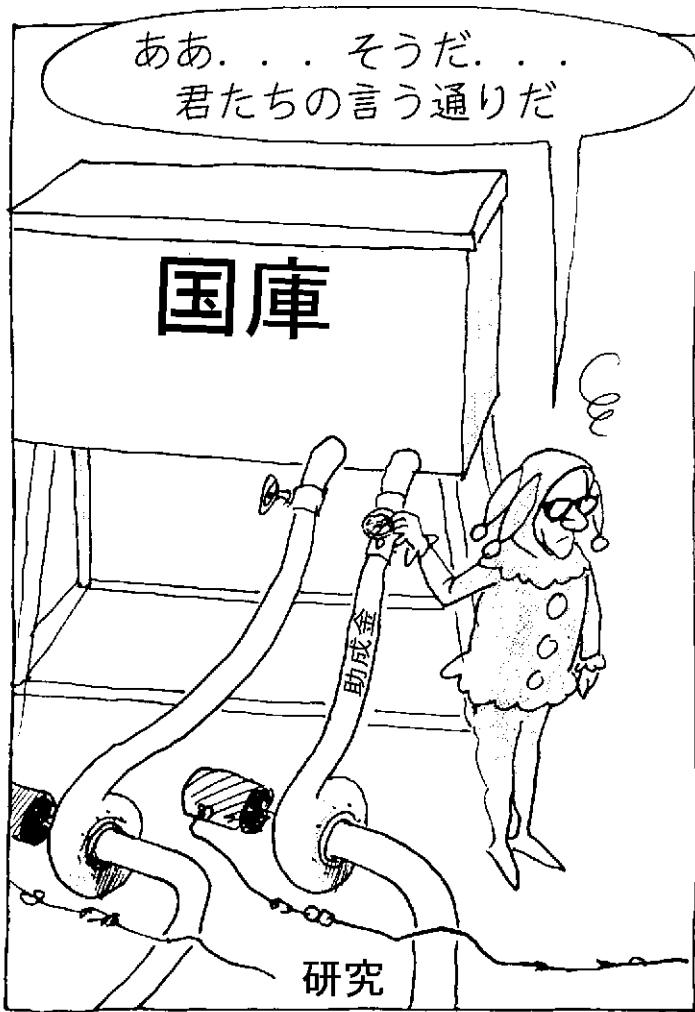
もし別の大臣職を作ったと
したら？あるいは閣外相職を？

なんだね？

財務災害大臣、唯一の解決策は、
技術の躍進です。革新しなければ
なりません、近代的な生産器具を
考え出さねばなりません。



想像力を働かせなけりゃいけない。



私たちの国の悲劇は、
回線における電流の損失だ...



終わり